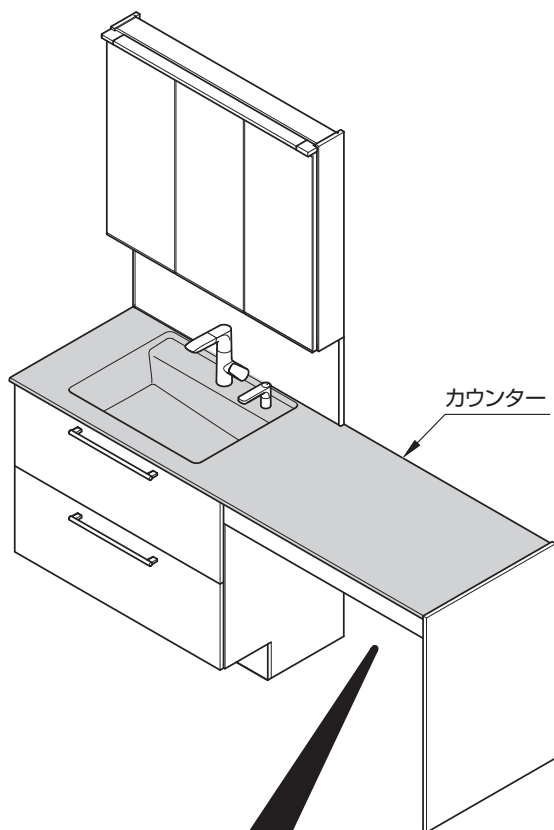


## 片寄せボウルプラン(間口対応タイプ)

エスクアLS

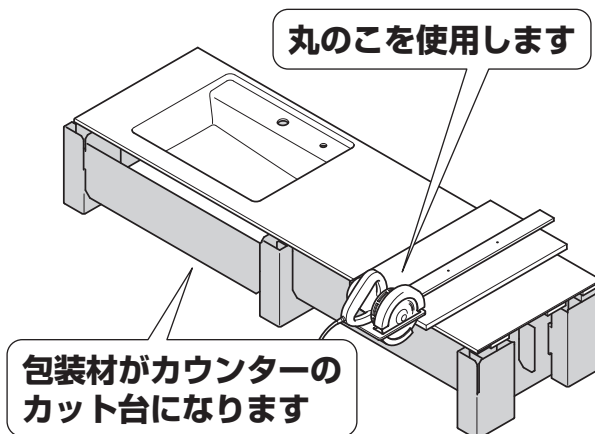
商品の機能が十分に発揮されるように、この組立・設置説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。



もくじ	2
安全上のご注意	3
設置寸法	4
全体構成	6
部品の確認	6
取り付けの前に	8
レイアウトプラン	10
取り付け手順	11
1. キャビネットの取り付け	12
2. カウンターの取り付け	24
3. 配管の接続	30
4. 仕上げ	33

### 組立・設置業者 様へ

カウンターは  
間口に合わせて  
カット します



# もくじ

## はじめに

もくじ	2
安全上のご注意	3
設置寸法	4
全体構成	6
部品の確認	6

## 取り付け手順

<b>1. キャビネットの取り付け</b>	<b>12</b>
1 扉・引き出しの取り外し	
2 給・排水穴の穴あけ	
3 フロアキャビネットの取り付け	
4 補強さん・幕板・補強金具のカット前作業	
5 補強さんの加工	
6 幕板の加工	
7 補強金具の加工	
8 幕板と補強金具の固定	
9 ベースフレームの取り付け	
10 補強さんのねじの取り付け	
11 補強さんの壁取り付け	
12 側板の取り付け前作業	
13 側板の設置	
14 アングルの取り付け	
15 幕板の設置	
<b>2. カウンターの取り付け</b>	<b>24</b>
1 カウンター固定用アングルの取り付け	
2 カウンターのカット寸法測定	
3 カウンターのカット前作業	
4 カウンターのカット	
5 サイドキャップの取り付け	
6 クッションの貼り付け	
7 水栓の取り付け	
8 カウンターの取り付け	

<b>取り付けの前に</b>	<b>8</b>
<b>レイアウトプラン</b>	<b>10</b>
<b>取り付け手順</b>	<b>11</b>

<b>3. 配管の接続</b>	<b>30</b>
1 止水栓の取り付け	
2 給水・給湯の接続	
3 排水トラップの取り付け	
4 底板の固定	
5 水受けトレイの取り付け	
<b>4. 仕上げ</b>	<b>33</b>
1 扉の調整	
2 2段引き出しの調整	
3 カウンターキャップの処理方法	
4 壁や化粧パネルとの処理方法	
5 幕板部の処理方法	
6 取り付け完了後の確認と清掃	
7 凍結予防の仕方	

# 安全上のご注意

- ・取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- ・この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただくために必ずお守りいただくことを、お知らせしています。使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この記号は、してはいけない「禁止」内容です。



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。



この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。

●取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。

紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取り付け完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

## 警告



禁止

**浴室などの湿気が多い場所へ設置しない**  
漏電により感電するおそれがあります。



必ず実行

**水道・電気工事は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者・指定業者」が行う**  
火災や感電および水漏れの原因になります。

**電源はAC100Vを使用する**

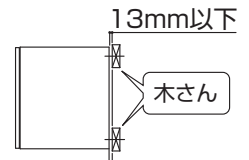
AC100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。



必ず実行

**壁固定用ねじ取付位置に木さんを入れて補強する**

キャビネットが転倒しけがをするおそれがあります。

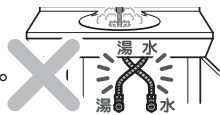


## 注意



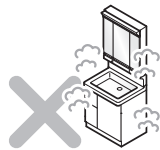
禁止

**湯・水を逆に配管しない**  
水側でいきなり湯が出て、やけどをするおそれがあります。



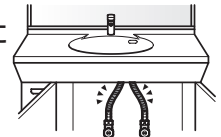
**浴室など湿気が多い場所へ設置しない**

木部の膨潤、変形などによりキャビネットが外れてけがをするおそれがあります。



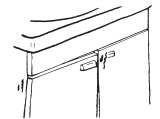
**凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行う**

凍結破損で水漏れし家財などに損害を与える原因になります。



必ず実行

**取り付け完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・がたつき・丁番のゆるみがないかを必ず確認する**  
使用中にキャビネット・扉が落下してけがをするおそれがあります。



**取り付け完了後、給排水管から水漏れがないかを必ず確認する**

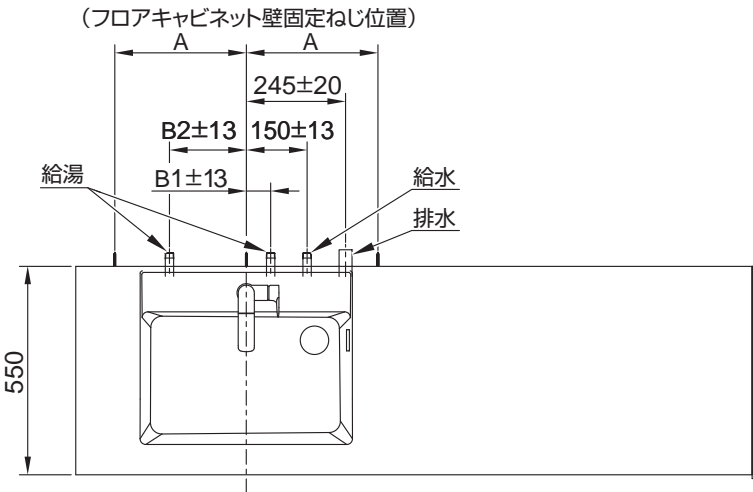
水漏れを起こすと、家財などに損害を与える原因になります。

# 設置寸法

- 特注品の場合の設置寸法は、商品図を確認してください。
- 壁排水トラップは付属していませんので、必要な場合は別売品のLO159をご購入ください。
- 止水栓は付属していませんので、必要な場合は下記品番の別売品をご購入ください。

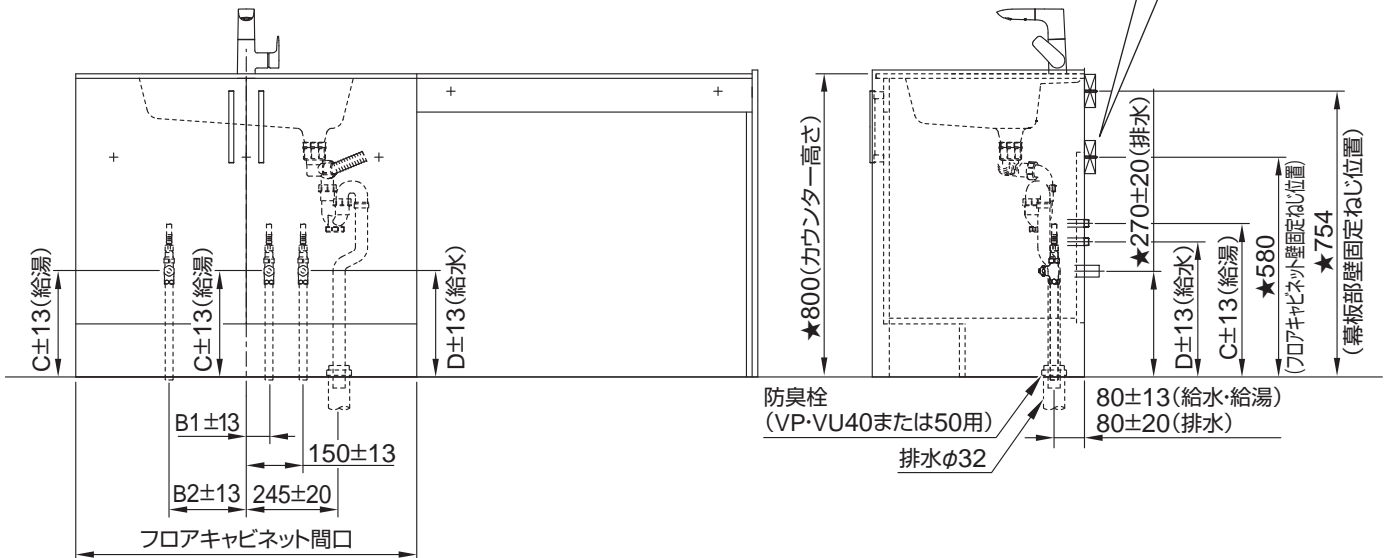
※本図は左片寄せボウル仕様を示します。右片寄せボウル仕様の場合は逆の配置になります。

水栓種類	B1	B2	カウンター高さ800				カウンター高さ750			
			C	D		C	D			
				「きれい除菌水」			「きれい除菌水」			
				なし	あり	なし	あり			
二穴	エアインシャワー水栓	60	—	350	350	300	300	300	250	
一穴	ハイネック水栓	タッチレス	60	—	300	300	300	250	250	250
		手動	60	—	350	400	350	300	350	300
	コンテンポラリタイプ	—	190	400	400	350	350	350	300	
	上記以外	60	—	400	400	350	350	350	300	

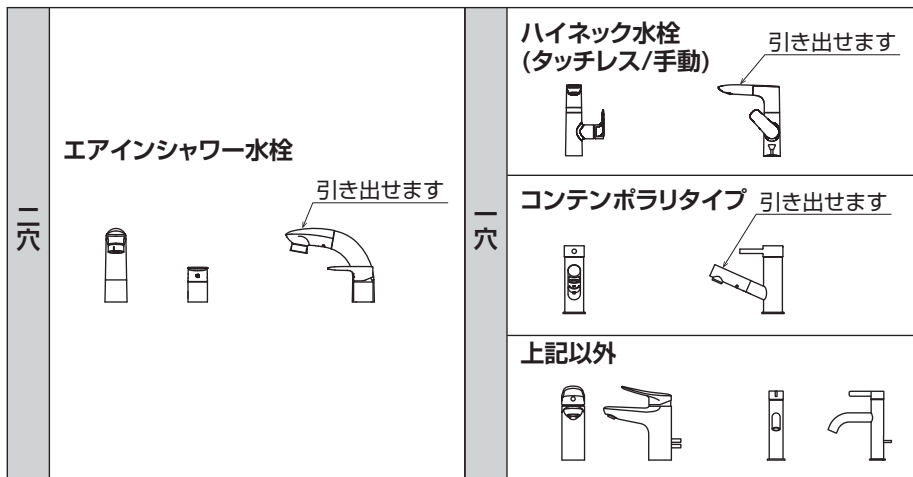


フロアキャビネット間口	750	900
A	325	350

- ※ 止水栓接続はR1/2となります。
- ※ ★印はカウンター高さ800mmの場合です。750mmの場合は★印寸法に-50mmにしてください。



## 水栓の種類



## 壁給水の止水栓品番

止水栓品番	数量
LTL524CD6U	2個

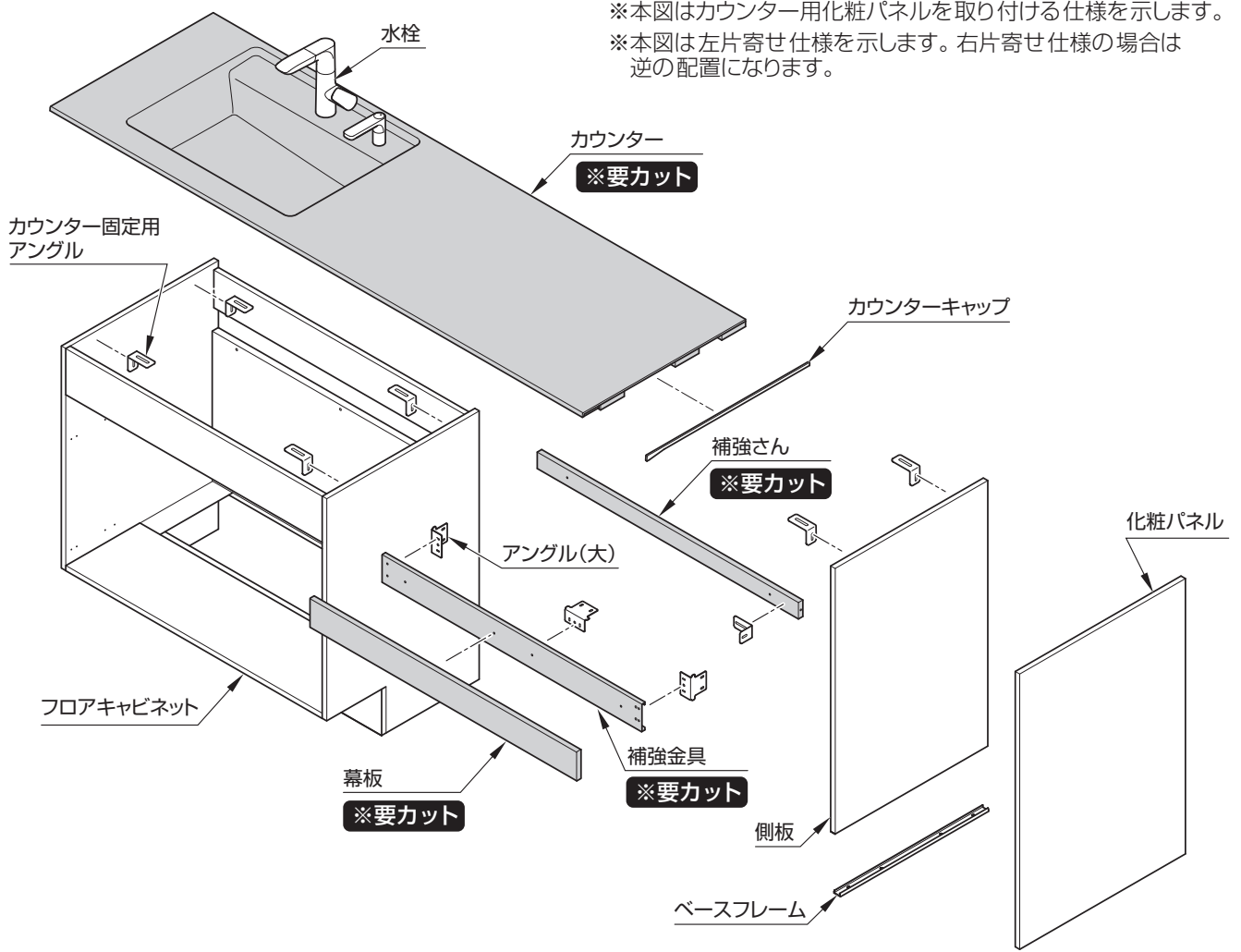
## 床給水の止水栓品番

水栓種類	「きれい除菌水」	止水栓品番		数量			
		カウンター高さ					
		750	800				
二穴	エアインシャワー水栓	なし	給湯・給水	LT4BD17U	LT4BD7U	各1個	
		あり	給湯	LT4BD17U	LT4BD7U	2個	
			給水	LT4BD16U	LT4BD17U		
一穴	ハイネック水栓	タッチレス	なし・あり	給湯・給水	LT4BD16U	LT4BD17U	2個
		手動	なし	給湯	LT4BD17U	LT4BD7U	各1個
	給水			LT4BD7U	LT4BD12U		
		あり	給湯・給水	LT4BD17U	LT4BD7U	2個	
	上記以外	なし	給湯・給水	LT4BD7U	LT4BD12U	各1個	
			あり	給湯	LT4BD7U	LT4BD12U	2個
		給水	LT4BD17U	LT4BD7U			

## 樹脂配管の品番

樹脂配管品番	数量
TSAS4BJZA	2個

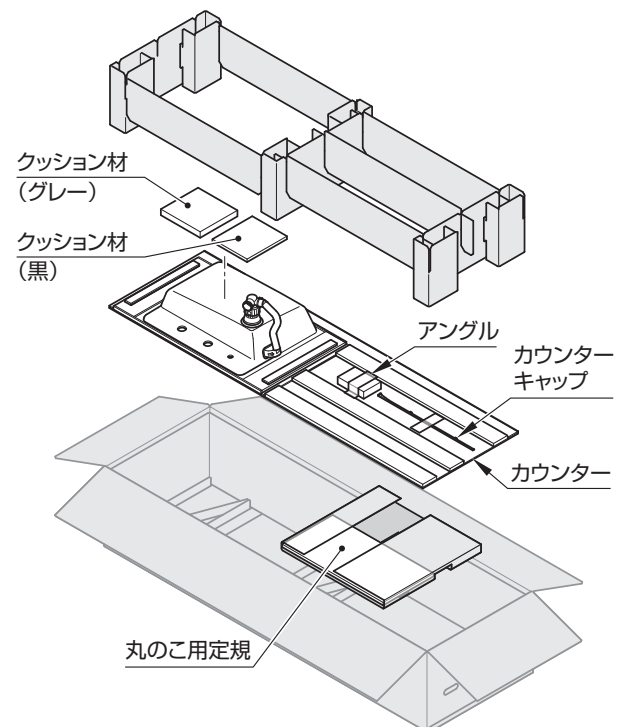
# 全体構成



# 部品の確認

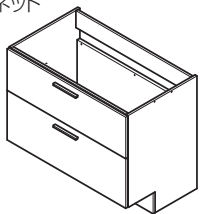
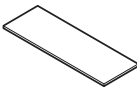
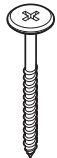










## 【カウンター】

<p>カウンター</p> <p>1個</p>	<p>カウンターキャップ</p> <p>1個</p>	<p>丸のこ用定規</p> <p>1個</p>
<p>クッション材</p>		<p>カウンター固定用 アングル</p> <p>1セット</p>
<p>グレー (5×5/2本)</p> <p>1セット</p>	<p>黒 (7×8/1本)</p> <p>1セット</p>	

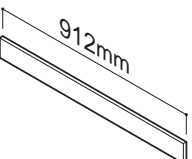

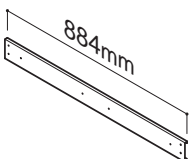

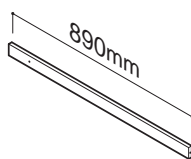
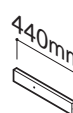


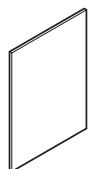




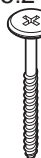





## 【カウンター梱包図】

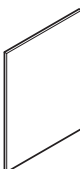

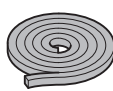


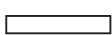
## 【フロアキャビネット】

キャビネット 	底板 	壁固定用 座付タッピンねじ ( $\phi 5.2 \times 55$ ) 	化粧キャップ 	不陸調整 スペーサー 	底板固定用 トラスタッピンねじ ( $\phi 3.5 \times 12$ ) 	給水ふた 
1個	1枚	3本	3個	1セット	4本	2個
排水ふた 	排水トラップ 	Lパイプ 	防臭栓 	取扱説明書 	組立・設置説明書 (本書) 	
1個	1セット	1セット	1個	1セット	1冊	

## 【幕板セット】

幕板		補強金具		補強さん			
間口1200~1800mm	間口1000~1200mm	間口1200~1800mm	間口1000~1200mm	間口1200~1800mm	間口1000~1200mm		
							
1本		1本		1本			
アングル(大) 	アングル 	側板 	アングル固定用 なベタタッピンねじ ( $\phi 4.5 \times 14$ ) 	なベタタッピンねじ ( $\phi 3 \times 16$ ) 	ベースフレーム 	ベースフレーム固定用 皿タッピンねじ ( $\phi 4 \times 20$ ) 	壁固定用座付 タッピンねじ ( $\phi 5.2 \times 55$ ) 
3個	1個	1枚	8本	6本	1本	4本	2本
座付タッピンねじ ( $\phi 4 \times 8$ ) 	化粧キャップ 	トラスタッピンねじ ( $\phi 4 \times 14$ ) 					
2本	2個	3本					

## 【化粧パネル】

化粧パネル 	不陸調整 スペーサー 	パッキン (グレーまたは 白: $6 \times 6$ ) 	座付タッピンねじ ( $\phi 3.9 \times 28$ ) 	化粧キャップ 	両面テープ 
1枚	1セット	1本	3本	3個	1枚

# 取り付けの前に

## 1 使用条件

※水栓・水栓金具・機器類などの使用条件は専用の施工説明書をご参照ください。

## 2 取り付け条件

### 警告

- キャビネットの壁固定部分には、設置壁の裏面に固定用木さんを入れる
- 木さんを使用せず、下地材を合板とする場合は、設置壁の全面に厚み12mm以上のJAS規格品の合板を強固に取り付ける(建築工事)



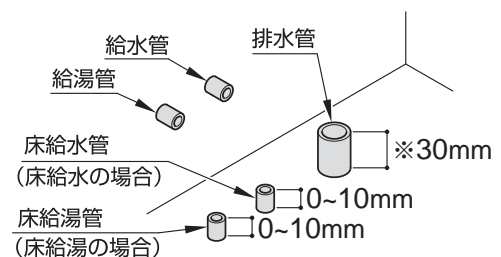
必ず実行

- コンクリート壁の場合、現物に合わせて壁固定用ねじ位置に下穴をあけ、壁固定用ねじにあったプラグ(引抜き強度: 1,000N以上/本)を打ち込む
  - プラグは壁固定用ねじにあわせて現場にて準備する
- ※プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。

キャビネットが転倒しけがをするおそれがあります。

- 洗面化粧台を取り付ける床面、壁面はクロス貼りなどの仕上げを施す  
カウンター周りの壁は、湿気や被水の影響に配慮した壁仕上げ(下地材・表面材)とする
- ドア枠、額縁、幅木のチリを考慮してから壁仕上げ寸法を決める
- 給水管を所定の位置に取り出す
- 器具を取り付ける前に必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流す
- 排水管を所定の位置に仕上げ面より下記要領で立ち上げる  
(排水管はVU40・VU50または、VP40・VP50を使用してください。)

※排水管と仕上げ面の取り出し穴にすき間がある場合は、シリコンシール材でシールしてください。



※電気温水器をセットする場合は、80mmで立ち上げてください。

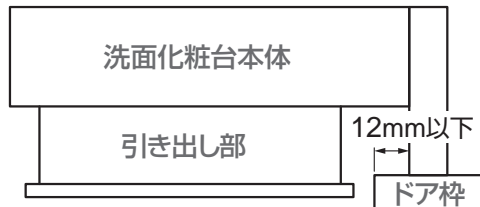


### 3 キャビネットを取り付ける前に

#### 確認1 洗面化粧台はドア枠対応が 必要ですか？

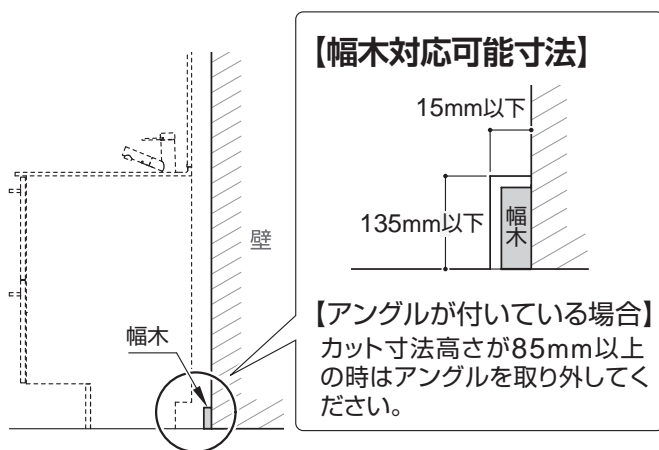
→ ドア枠対応商品の場合、ドア枠の  
出幅を確認してください。

※12mm以下になっているか確認ください。



#### 確認2 後壁に幅木はありますか？

→ 壁に幅木がある場合は、下記寸法  
以下であれば洗面化粧台後部を  
カットできます。

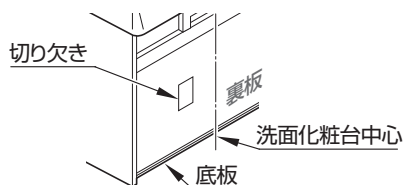


#### 確認3 「きれい除菌水」生成器・魔法びん 電気即湯器を取り付けますか？

→ 取り付ける場合は、  
裏板を切り欠いてください。

※ 壁付コンセントの位置を確認した後、コン  
セントと裏板の切り欠きが合うように裏板  
を切り欠いてください。

※ 魔法びん電気即湯器の場合は、アースター  
ミナル付コンセントが必要です。



→ 取り付け要領を確認してください。

※ 取り付け要領は各商品に付属の施工説明書  
をご参照ください。

#### 確認4 カウンター用化粧パネルを 取り付けますか？

→ プランによって横壁のかわりに  
化粧パネルを使用します。  
カウンターカット側が下記条件の  
場合は、化粧パネルを設置してく  
ださい。

■横壁がない場合、または横壁の奥行  
寸法が555mm未満の場合

■トールキャビネットが併設する場合

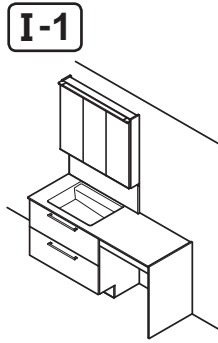
# レイアウトプラン

- ※ 取り付ける前に必ず、レイアウトをご確認ください。レイアウトにより取り付け手順が異なります。
- ※ カウンターカット側の横壁がない、横壁の奥行きが555mm未満またはトールキャビネットが併設する場合は、カウンター化粧パネルが必要になります。
- ※ タイプの仕様により外観形状が異なります。
- ※ 本図は左片寄せ仕様を示します。右片寄せ仕様の場合は逆の配置になります。

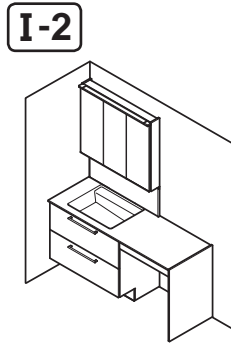
## I. 単独設置



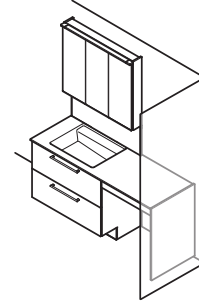
両側オープン



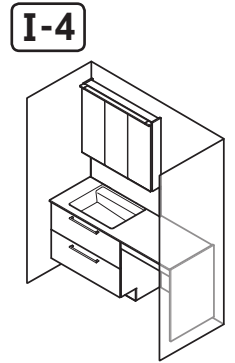
片側壁



I-3



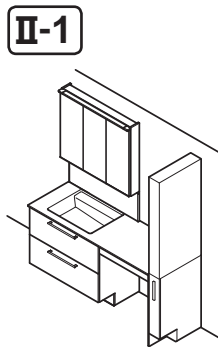
両側壁



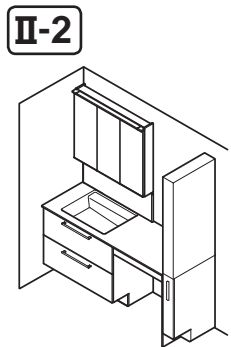
## II. 幕板側 トール併設



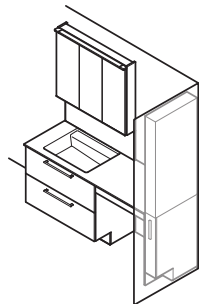
両側オープン



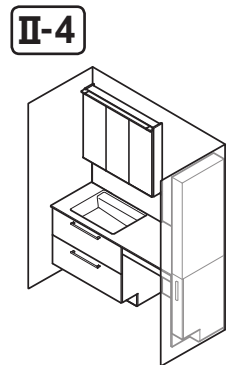
片側壁



II-3



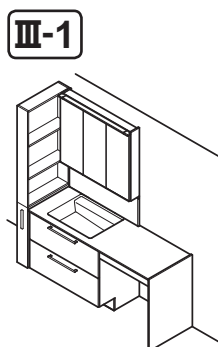
両側壁



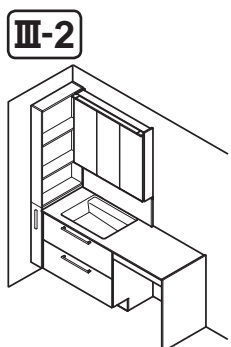
## III. フロアキャビ側 トール併設



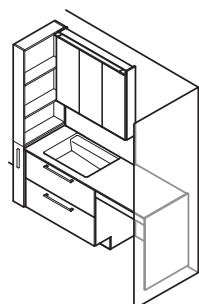
両側オープン



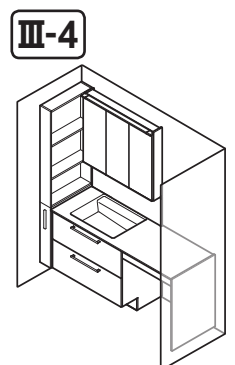
片側壁



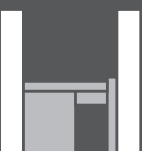
III-3



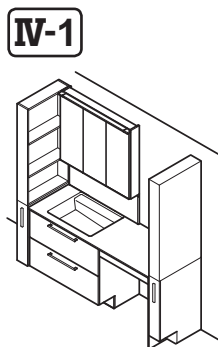
両側壁



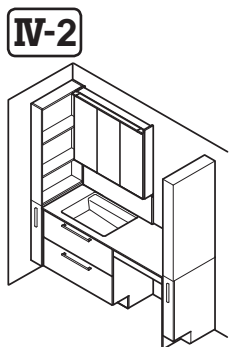
## IV. 両側 トール併設



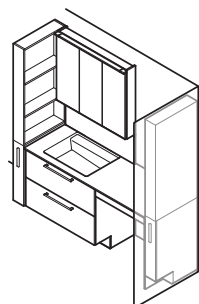
両側オープン



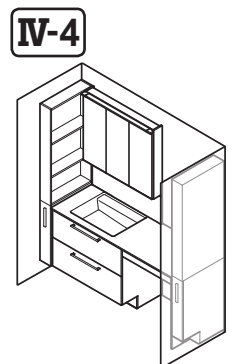
片側壁



IV-3

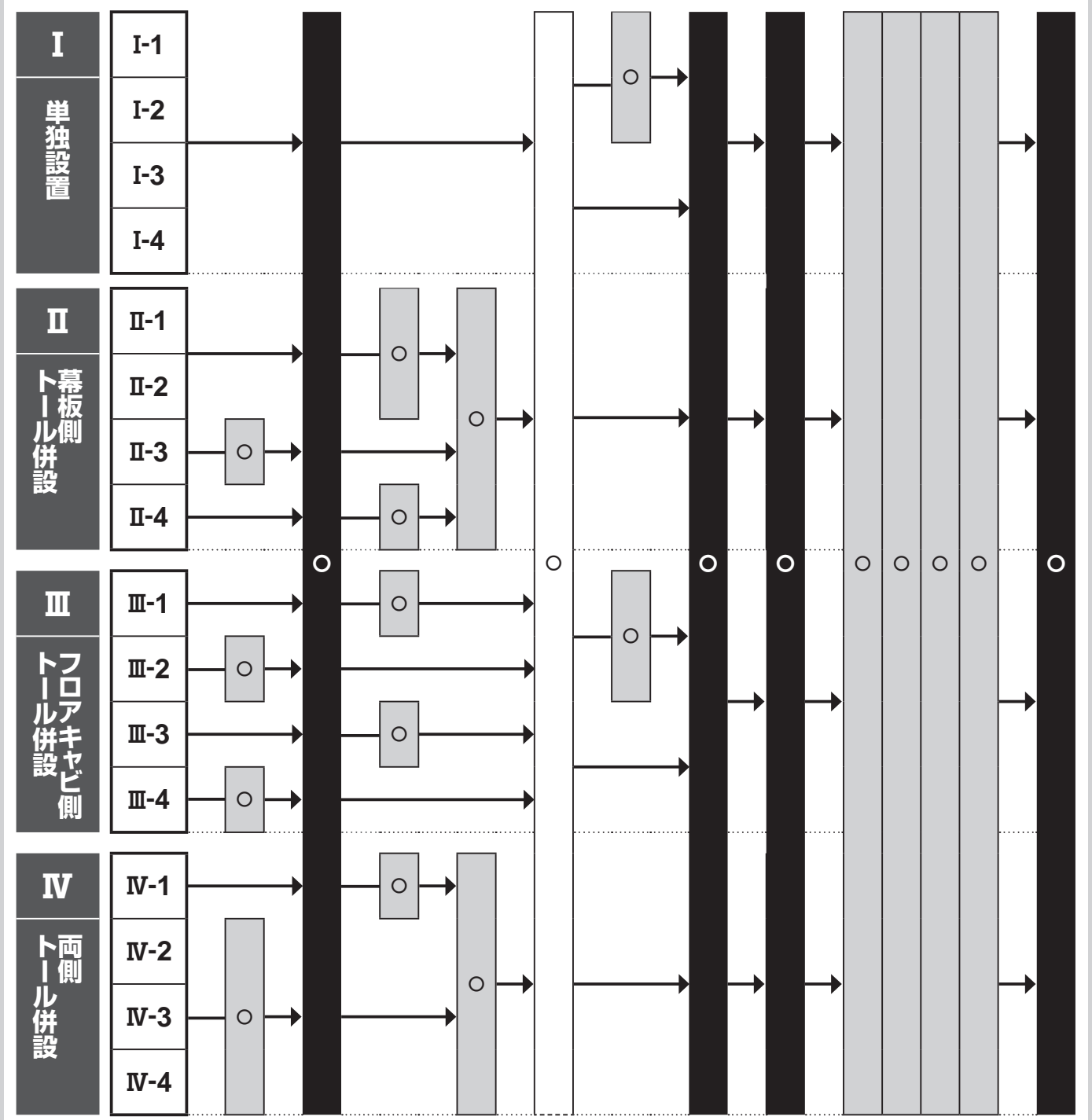
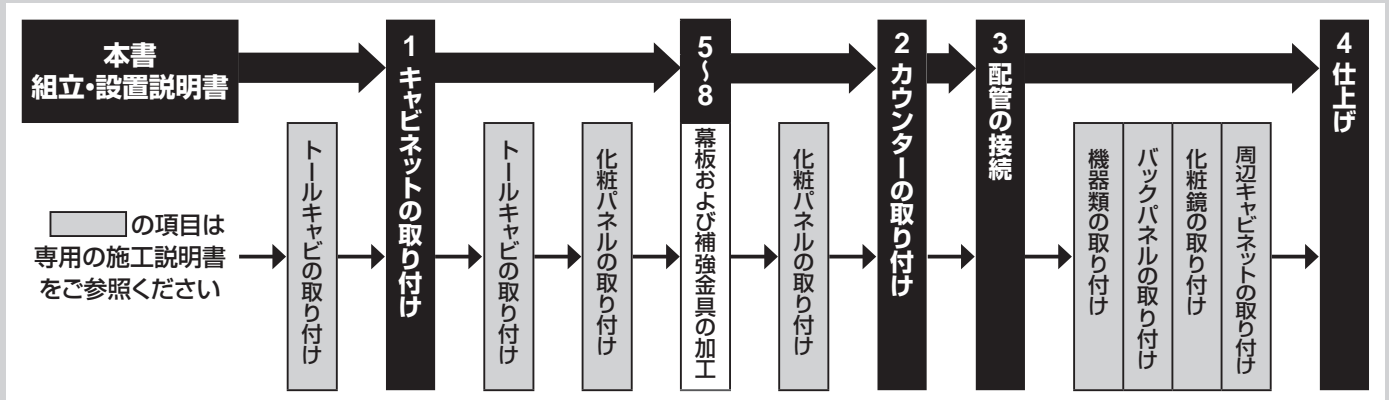


両側壁



# 取り付け手順

※各レイアウトにより取り付け順序が異なるため、下記手順で取り付けてください。

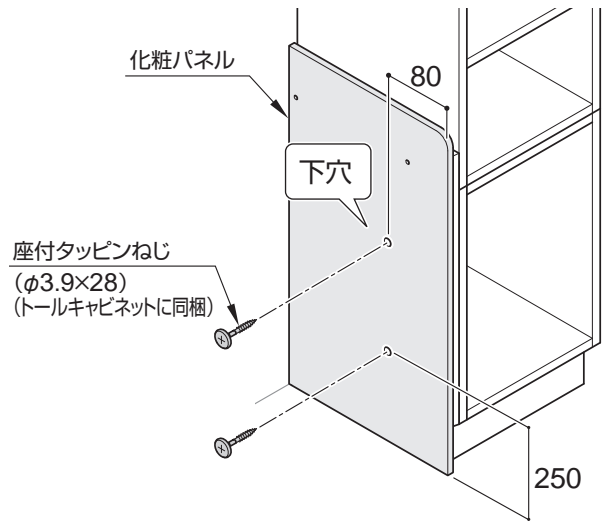


トールキャビネットがある場合

※取り付け要領はトールキャビネットに付属の組立・設置説明書をご確認ください。

トールキャビネットが  
カウンター用化粧パネルと隣接する場合

化粧パネルを連結する



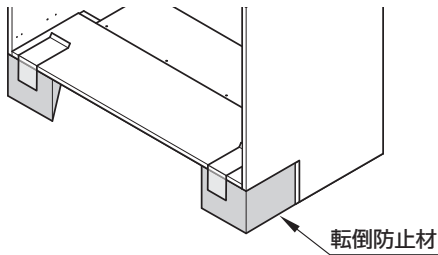
# 1. キャビネットの取り付け

- キャビネットをひきずらない

## 1 扉・引き出しの取り外し

### 扉・引き出しを取り外す

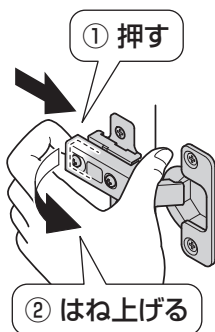
※フロアキャビネット下部に取り付けてある転倒防止材はキャビネットを固定するまで外さないでください。



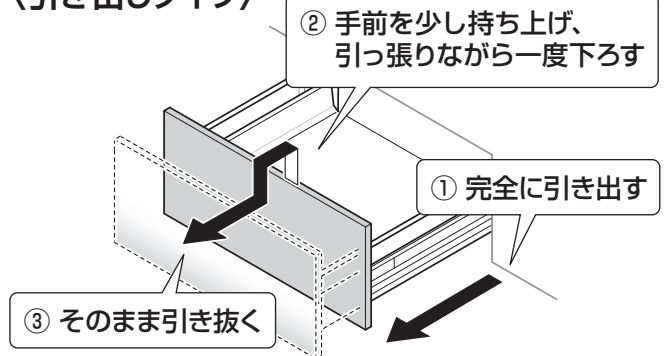
※外した扉・引き出しは傷つかないように養生等をして保管ください。

- 取り付け完了後、元に戻す

### 〈開き扉タイプ〉



### 〈引き出しタイプ〉



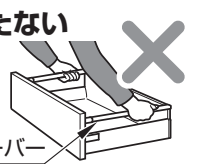
## ⚠ 注意



禁止

### ギャラリバー部分を持たない

ギャラリバーが外れて引き出しが落下し、けがをするおそれがあります。



ギャラリバー

## 2 給・排水穴の穴あけ

給水・排水の位置に合わせて、フロアキャビネットに給水穴・給湯穴(φ30~50×2カ所)、排水穴(φ50)を穴あけする

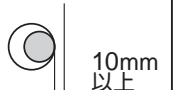
## ⚠ 注意



必ず実行

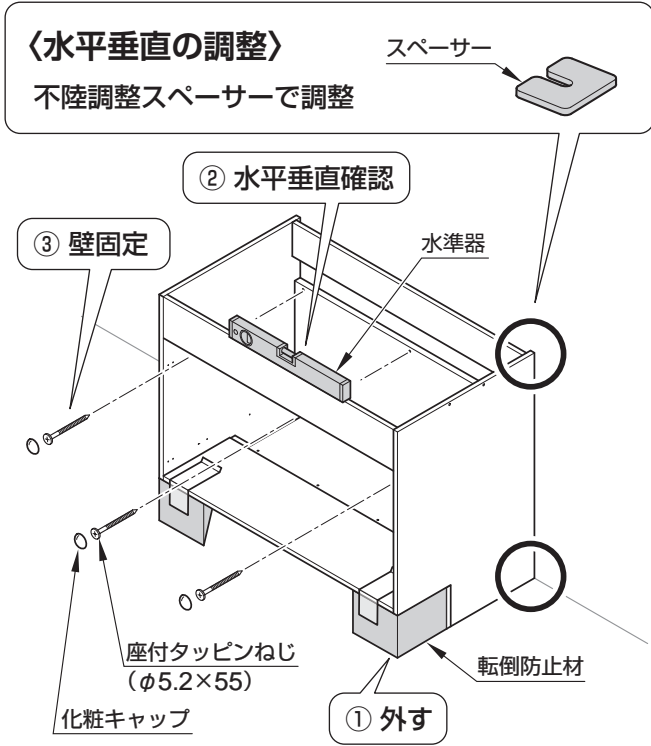
底板端部など、開口まわりに10mm以上の残り代を必ず確保する

底板が破損するおそれがあります。



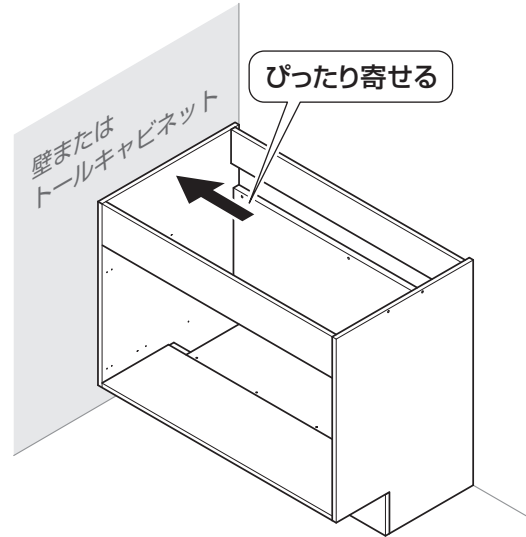
### 3 フロアキャビネットの取り付け

- 1 転倒防止材を外す
- 2 裏板に開いたφ6の目印を目安に付属の壁固定用ねじ(3本)で壁に確実に固定し、化粧キャップを取り付ける



フロアキャビネット側に横壁  
またはトールキャビネットがある場合

フロアキャビネットは横壁またはトールキャビネット  
にぴったり寄せて設置する



### 4 補強さん・幕板・補強金具のカット前作業

- 1 測定前のレイアウトを確認する

※ 本図は左片寄せ仕様を示します。右片寄せ仕様の場合は逆の配置になります。  
※ タイプによって作業が異なります。

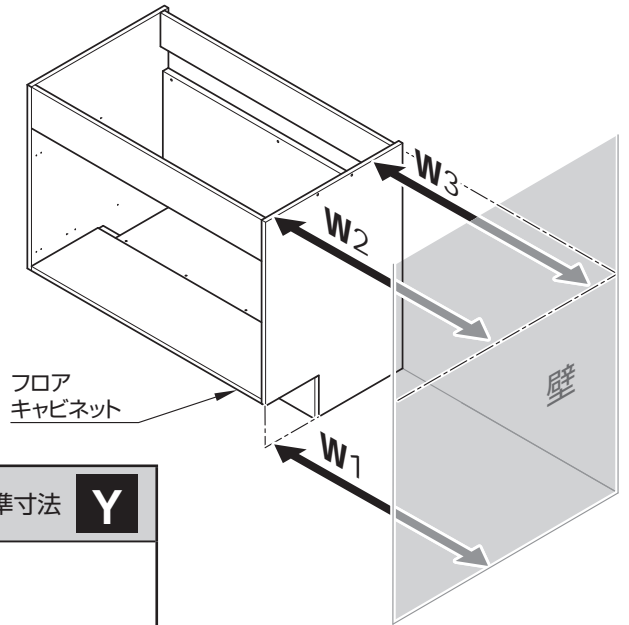
A タイプ	B タイプ	C タイプ
化粧パネルなし	化粧パネルなし	化粧パネルあり
壁またはトールキャビネット 555mm以上	555mm以上	化粧パネル
D タイプ		
化粧パネルあり		
化粧パネル	化粧パネル トールキャビネット	化粧パネル ※カット側の壁が555mm未満で、 かつ化粧パネルを取り付ける際に パネルをpushさえるスペースが取れない場合 30mm以上

2 カット基準寸法を測定する

A・Bタイプの場合 化粧パネルなし

① 壁-キャビネット 間を測定する

測定寸法			
W1	mm	W3	mm
W2	mm		



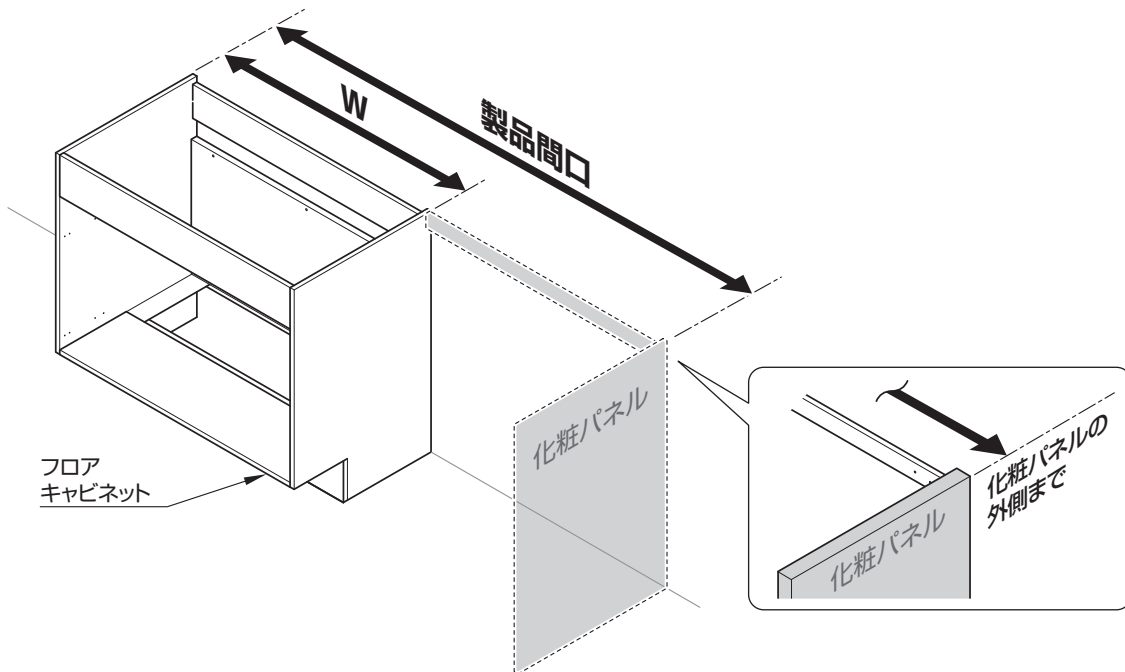
② 表を使ってカット寸法を求める

①で測定した寸法中の最短寸法	設置用調整寸法	カット基準寸法 Y
mm	25 mm	mm

mm - 25 mm = mm

C・Dタイプの場合 化粧パネルあり

① 製品間口を決定し、キャビネット間口を測定する



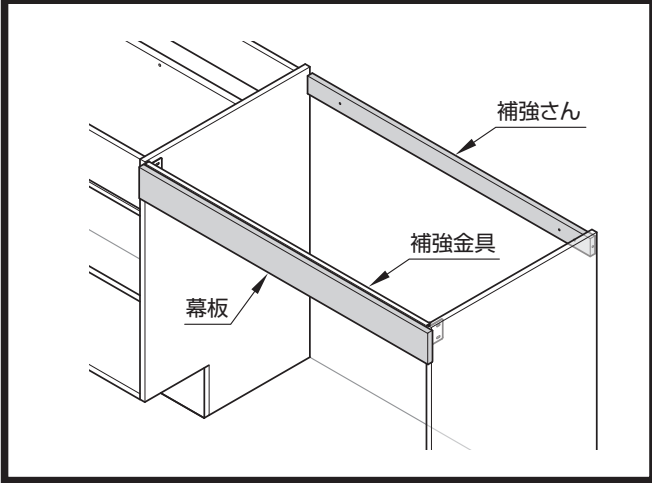
② 表を使ってカット寸法を求める

製品間口寸法	W	設置用調整寸法	カット基準寸法 Y
mm	mm	38 mm	mm

mm - mm - 38 mm = mm

実機を測定し記入ください。

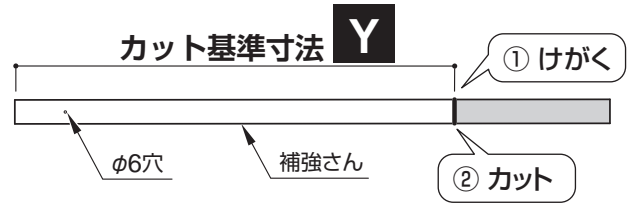
## 補強さん・幕板・補強金具 固定完了図



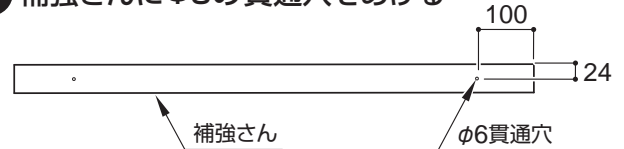
## 5 補強さんの加工

※補強さんは幕板セットに同梱されています。

- ① 補強さんにカット位置をけがき、カットする

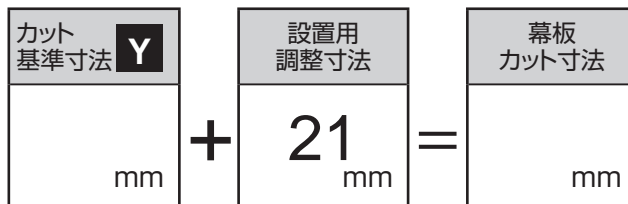


- ② 補強さんにφ6の貫通穴をあける



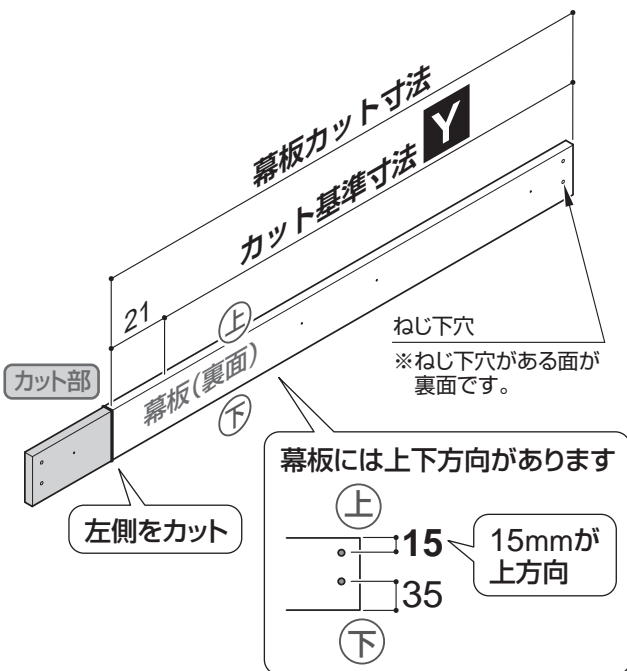
## 6 幕板の加工

- ① 表を使って幕板カット寸法を求める

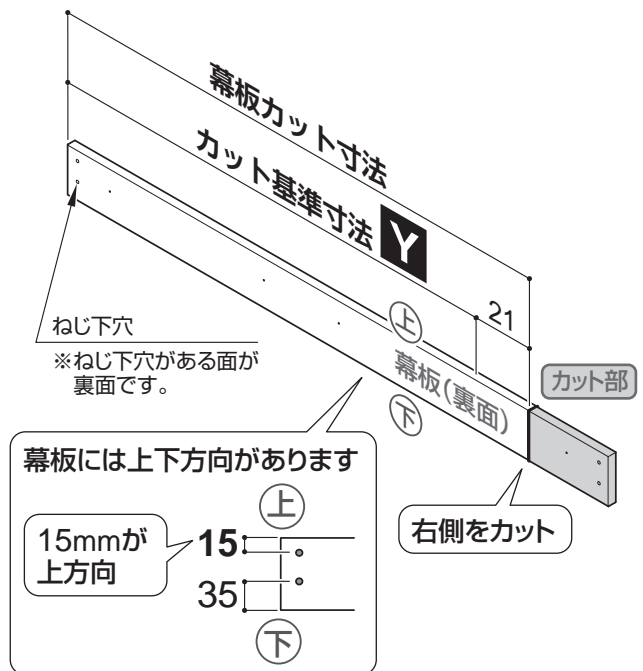


- ② 幕板をカットする

洗面ボウルが「**左**片寄せ仕様」の場合



洗面ボウルが「**右**片寄せ仕様」の場合

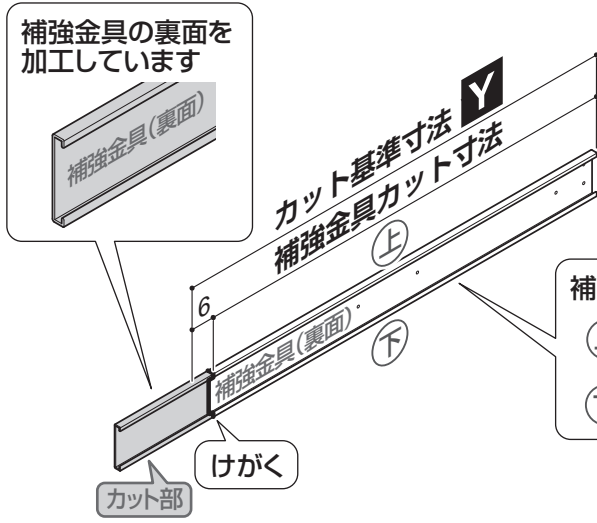


# 7 補強金具の加工

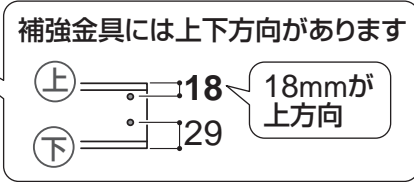
1 キャビネットの取り付け

## 洗面ボウルが「左」片寄せ仕様の場合

### 1 表を使って補強金具カット寸法を求める

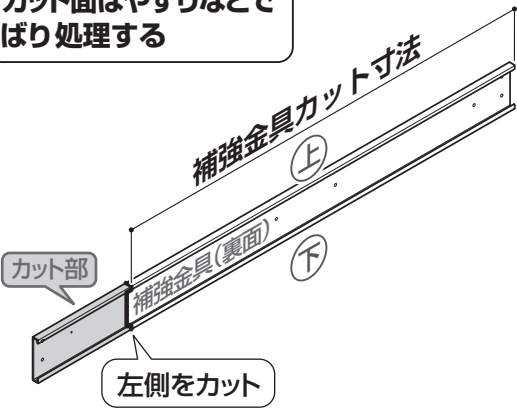


カット基準寸法 Y	設置用調整寸法	補強金具カット寸法
mm	6 mm	mm



### 2 補強金具をカットして、穴あけ(φ4.5貫通穴)をする

**ポイント**  
カット面はやすりなどで  
ばり処理する



### 補強金具の【カット前寸法：幅 434 mmの場合】

カット寸法	加工内容
300 ~ 424 mm	<p>穴あけ(4カ所)</p>
210 ~ 299 mm	<p>穴あけ(3カ所)</p>

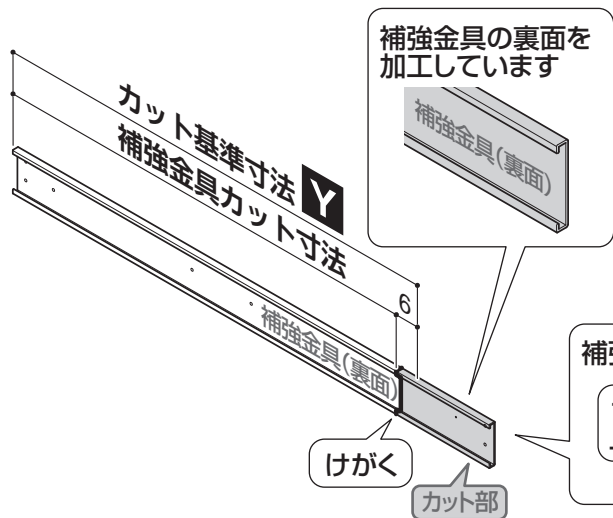
### 【補強金具のカット前寸法：幅 884 mmの場合】

カット寸法	加工内容
750 ~ 874 mm	<p>穴あけ(4カ所)</p>
500 ~ 749 mm	<p>穴あけ(4カ所)</p>
420 ~ 499 mm	<p>穴あけ(4カ所)</p>
300 ~ 419 mm	<p>穴あけ(5カ所)</p>
260 ~ 299 mm	<p>穴あけ(3カ所)</p>



洗面ボウルが「**右**片寄せ仕様」の場合

1 表を使って補強金具カット寸法を定める



カット基準寸法 <b>Y</b>	設置用調整寸法	補強金具カット寸法
mm	6 mm	mm

mm - 6 mm = mm

補強金具には上下方向があります

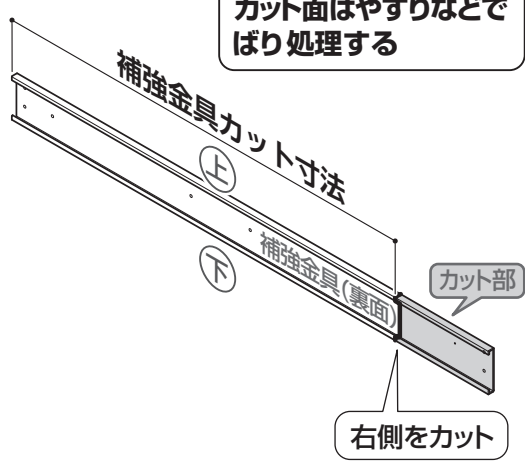
18mmが上方向

18 (上)

29 (下)

2 補強金具をカットして、穴あけ(φ4.5貫通穴)をする

**ポイント**  
カット面はやすりなどで  
ばり処理する



【補強金具のカット前寸法：幅 **884** mmの場合】

カット寸法	加工内容
750 ~ 874 mm	750~874 440 32 18 18 35 穴あけ(4カ所) カット部
500 ~ 749 mm	500~749 300 32 18 18 35 穴あけ(4カ所) カット部
420 ~ 499 mm	420~499 200 32 18 18 35 穴あけ(4カ所) カット部
300 ~ 419 mm	300~419 150 32 41 18 18 35 穴あけ(5カ所) カット部
260 ~ 299 mm	260~299 200 18 18 41 35 穴あけ(3カ所) カット部

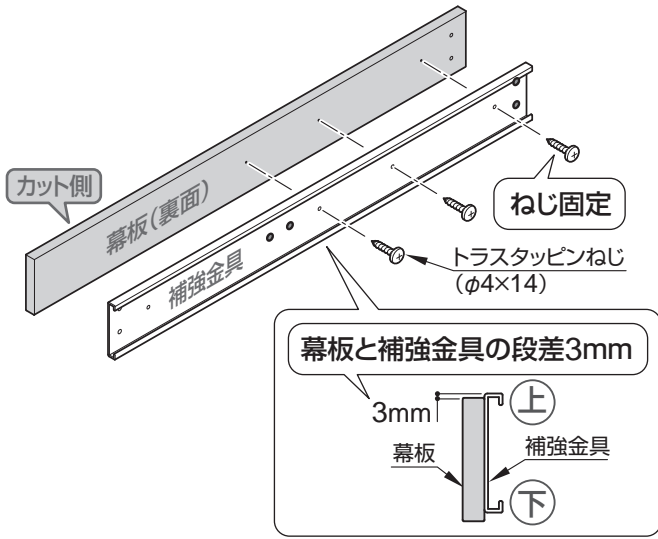
補強金具の  
【カット前寸法：幅 **434** mmの場合】

カット寸法	加工内容
300 ~ 424 mm	300~424 150 35 32 18 18 35 穴あけ(4カ所) カット部
210 ~ 299 mm	210~299 150 41 18 18 35 穴あけ(3カ所) カット部

## 8 幕板と補強金具の固定

### 1 キャビネットの取り付け

洗面ボウルが「**左**片寄せ仕様」の場合



【補強金具のカット前寸法：幅 **434 mm** の場合】

補強金具間口	固定位置
300 } 424 mm	<p>この穴はねじ固定しない</p> <p>ねじ固定(2カ所)</p>
210 } 299 mm	<p>この穴はねじ固定しない</p> <p>ねじ固定(2カ所)</p>

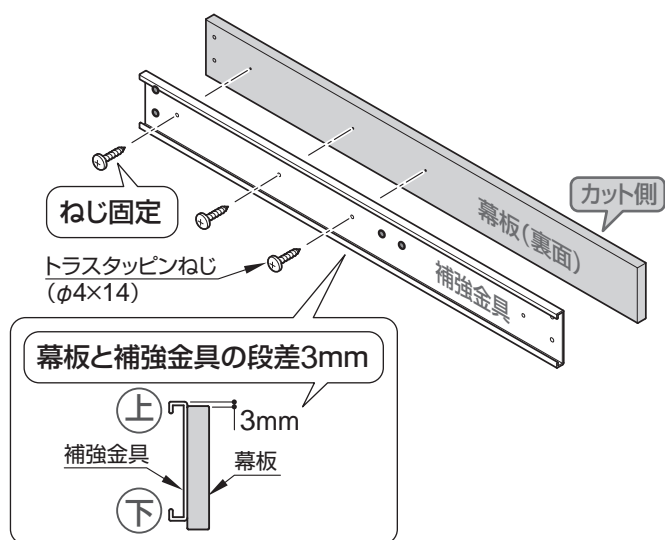
※ねじ固定位置は表を参照してください。  
 ※2カ所固定の場合は、ねじが1本あまります。

【補強金具のカット前寸法：幅 **884 mm** の場合】

補強金具間口	固定位置
750 } 874 mm	<p>この穴はねじ固定しない</p> <p>ねじ固定(3カ所)</p>
500 } 749 mm	<p>この穴はねじ固定しない</p> <p>ねじ固定(2カ所)</p>
420 } 499 mm	<p>ねじ固定(2カ所)</p>
300 } 419 mm	<p>この穴はねじ固定しない</p> <p>ねじ固定(2カ所)</p>
260 } 299 mm	<p>ねじ固定(2カ所)</p>

洗面ボウルが「**右**片寄せ仕様」の場合

【補強金具のカット前寸法：幅 **434** mmの場合】



補強金具間口	固定位置
300 } 424 mm	5 この穴はねじ固定しない ねじ固定(2カ所)
210 } 299 mm	5 この穴はねじ固定しない ねじ固定(2カ所)

※ねじ固定位置は表を参照してください。  
※2カ所固定の場合は、ねじが1本あまります。

【補強金具のカット前寸法：幅 **884** mmの場合】

補強金具間口	固定位置
750 } 874 mm	5 ねじ固定(3カ所) この穴はねじ固定しない
500 } 749 mm	5 ねじ固定(2カ所) この穴はねじ固定しない
420 } 499 mm	5 ねじ固定(2カ所)
300 } 419 mm	5 この穴はねじ固定しない ねじ固定(2カ所)
260 } 299 mm	5 ねじ固定(2カ所)

## 9 ベースフレームの取り付け

### 1 補強さんをセットする

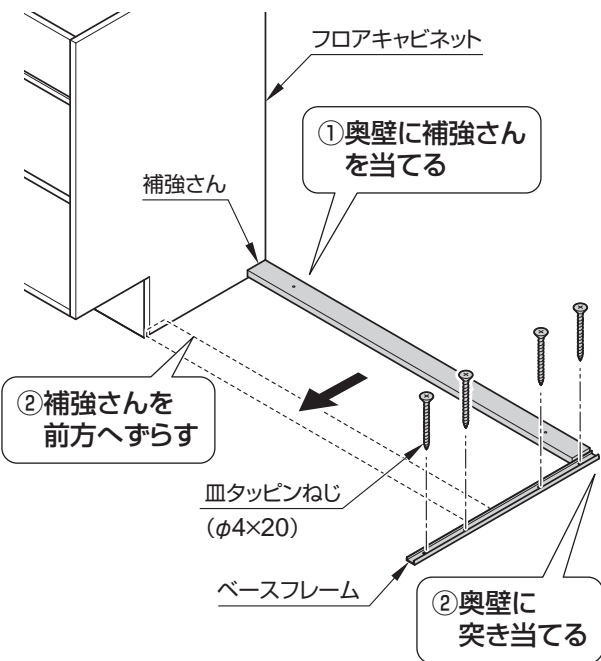
※ベースフレームの固定位置をフロアキャビネットと平行に出すために使用します。

### 2 ベースフレームを固定する

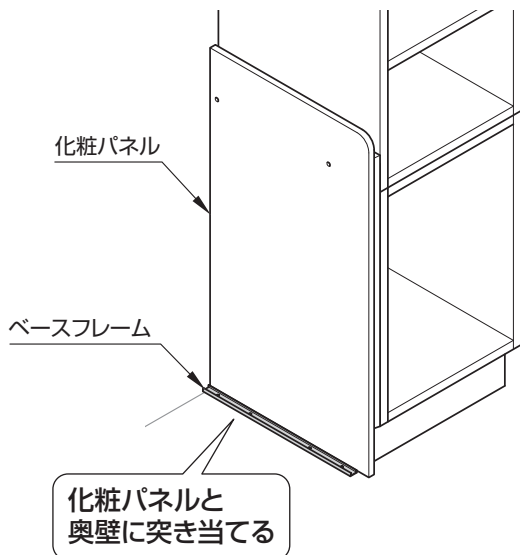
### ⚠ 注意



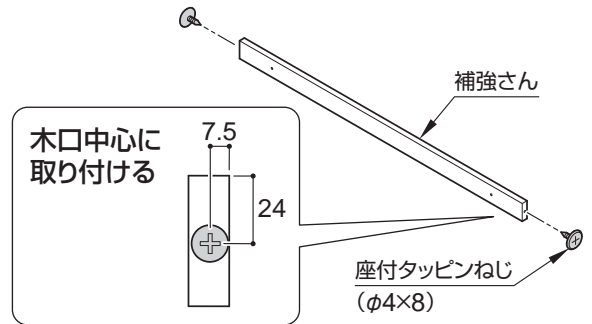
**床暖房設備がある場合は、キャビネットを設置しない**  
 ベースフレームを固定する際、設備が破損するおそれがあります。



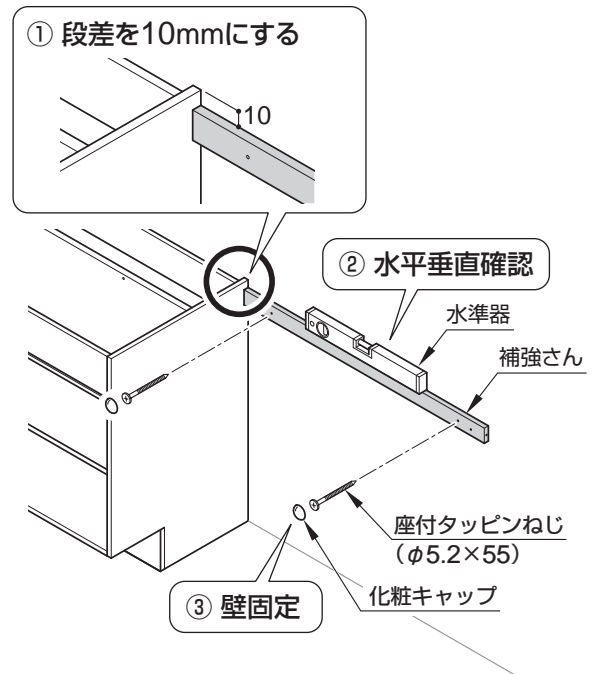
### トールキャビネットと化粧パネルが連結してる場合



## 10 補強さんのねじの取り付け



## 11 補強さんの壁取り付け



12 側板の取り付け前作業

化粧パネルあり(C・Dタイプ)

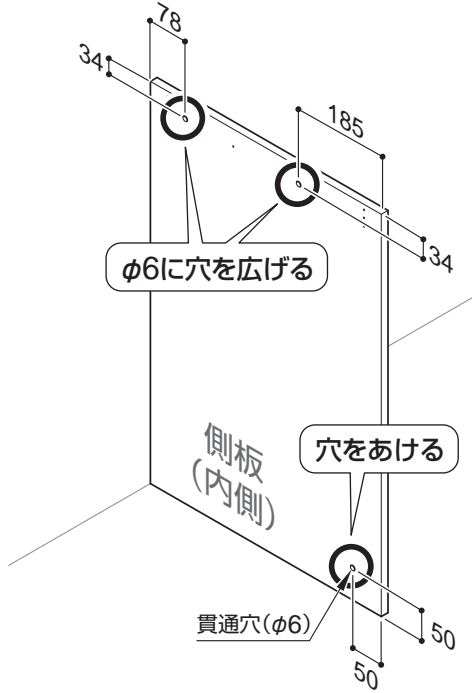
1

キャビネットの取り付け

洗面ボウルが「左」片寄せ仕様の場合

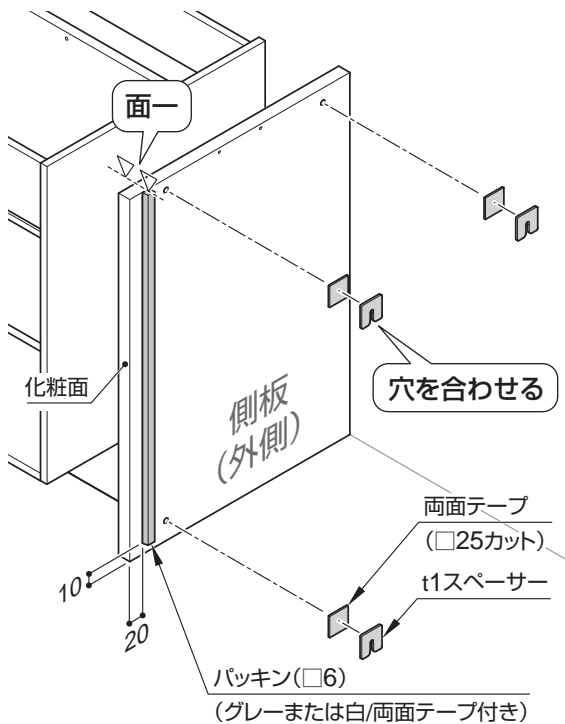
1 側板内側を加工する

※内側から貫通穴(φ6)を、3カ所あけてください。



2 側板外側を加工する

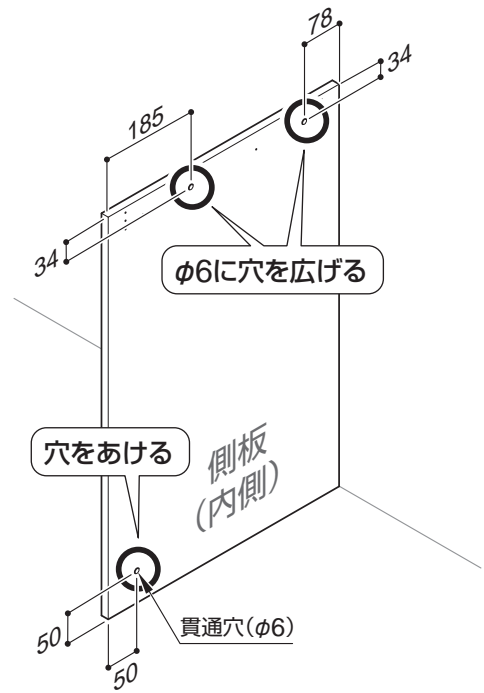
※部品は化粧パネルに付属しています。



洗面ボウルが「右」片寄せ仕様の場合

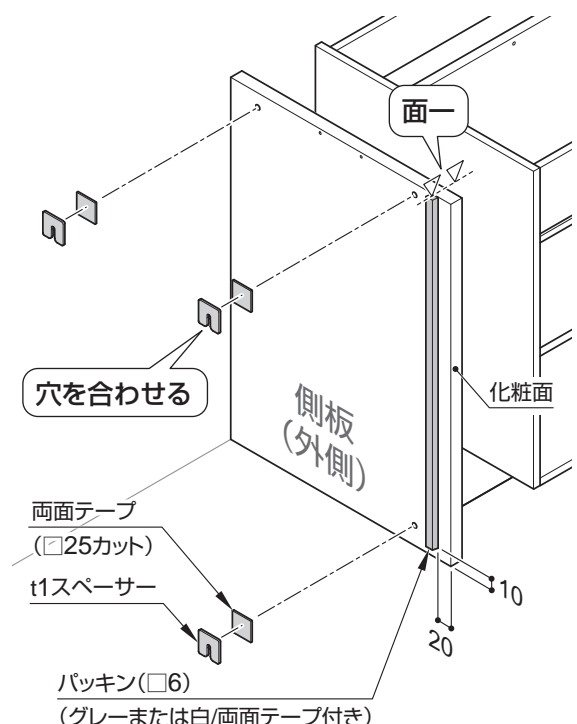
1 側板内側を加工する

※内側から貫通穴(φ6)を、3カ所あけてください。



2 側板外側を加工する

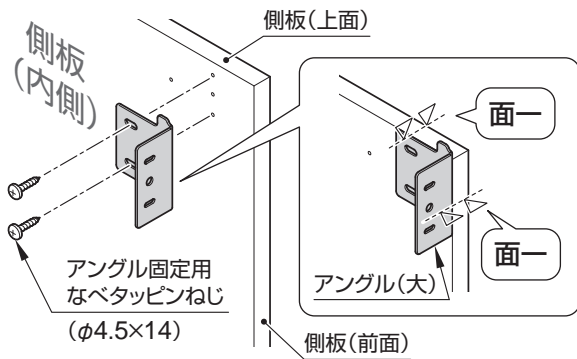
※部品は化粧パネルに付属しています。



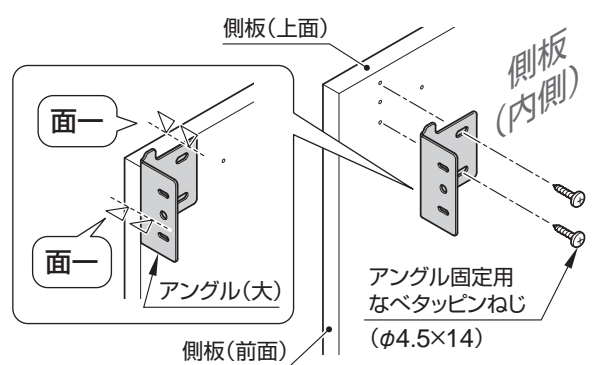
# 13 側板の設置

## 1 側板へアングル(大)を取り付ける

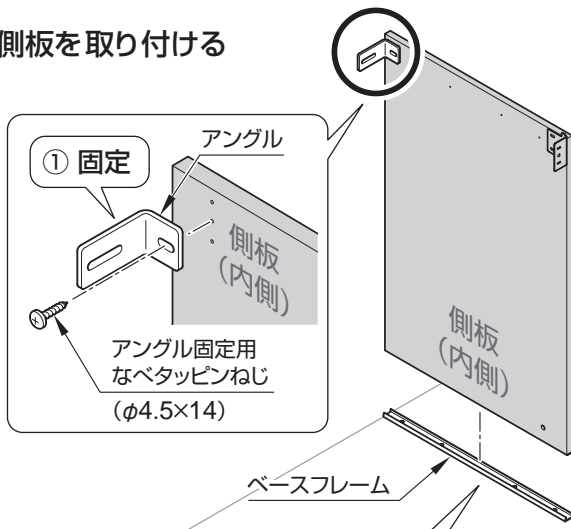
洗面ボウルが「**左**片寄せ仕様」の場合



洗面ボウルが「**右**片寄せ仕様」の場合



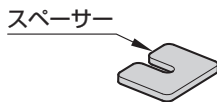
## 2 側板を取り付ける



② ベースフレームにのせ、水平垂直確認

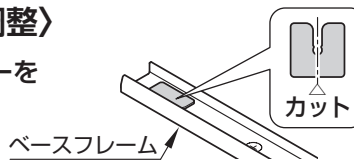
〈水平垂直の調整〉

不陸調整スペーサーで調整



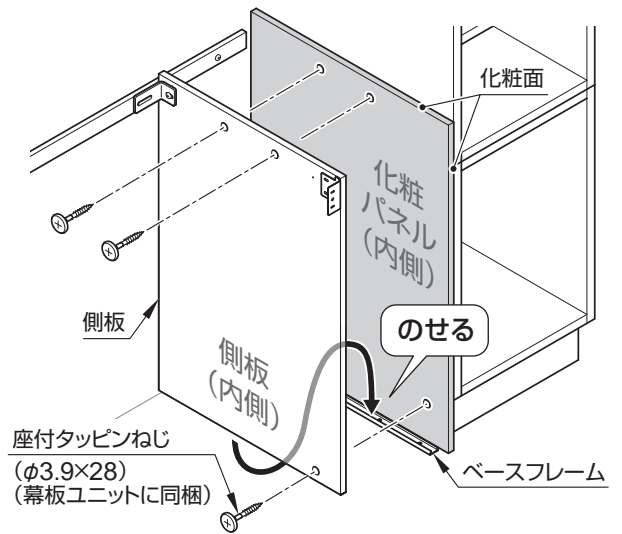
〈側板の傾きの調整〉

不陸調整スペーサーをカットして調整

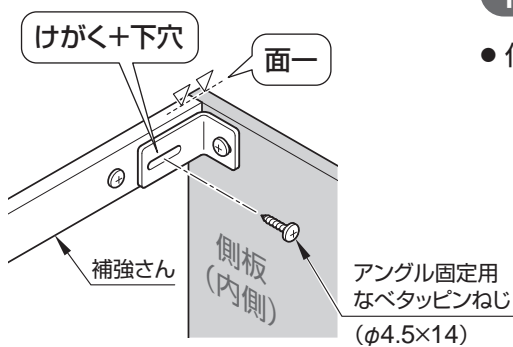


ツールキャビネットに化粧パネルが取り付けられている場合

- 化粧パネルと側板を連結させる

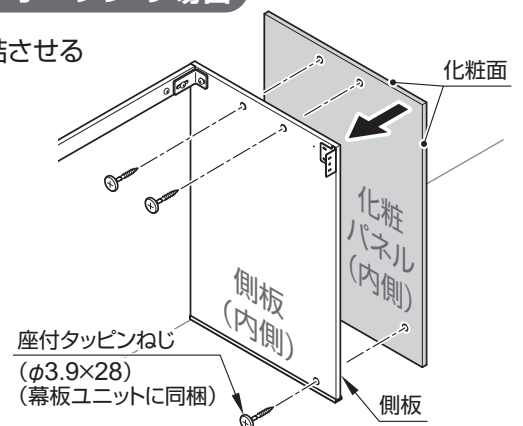


## 3 補強さんと側板を固定する



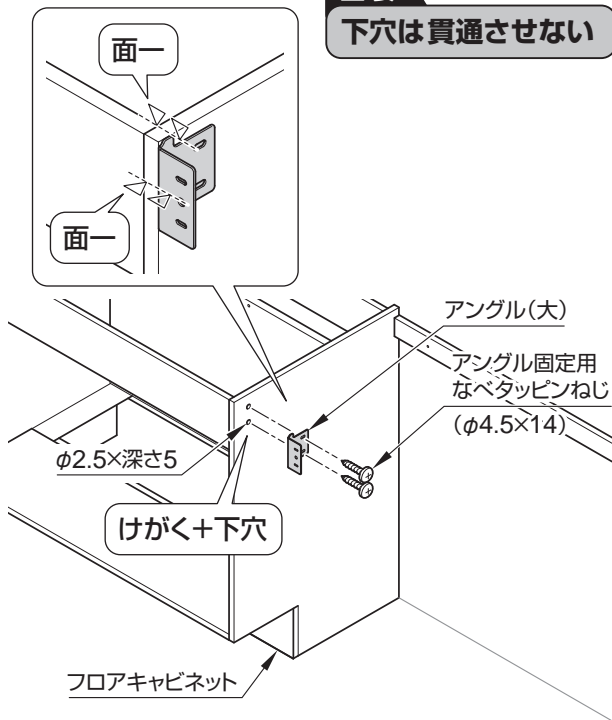
化粧パネル(外側)がオープンの場合

- 化粧パネルと側板を連結させる



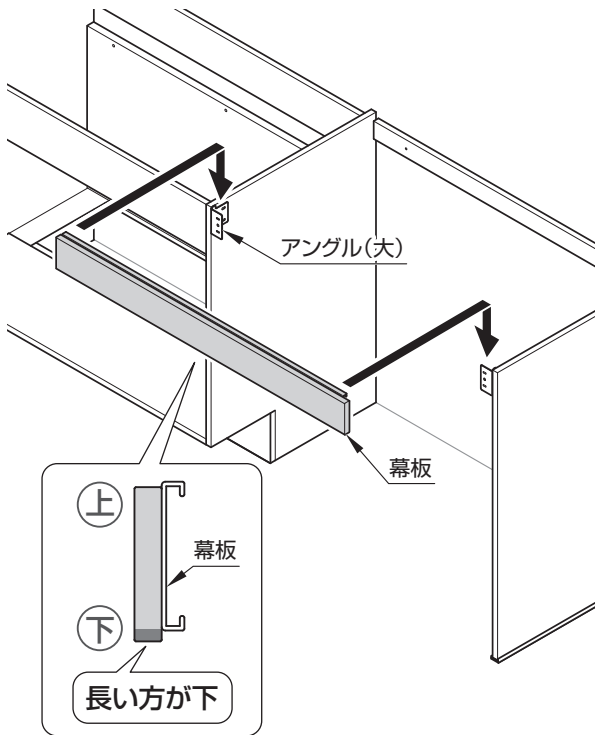
# 14 アングルの取り付け

**重要**  
下穴は貫通させない

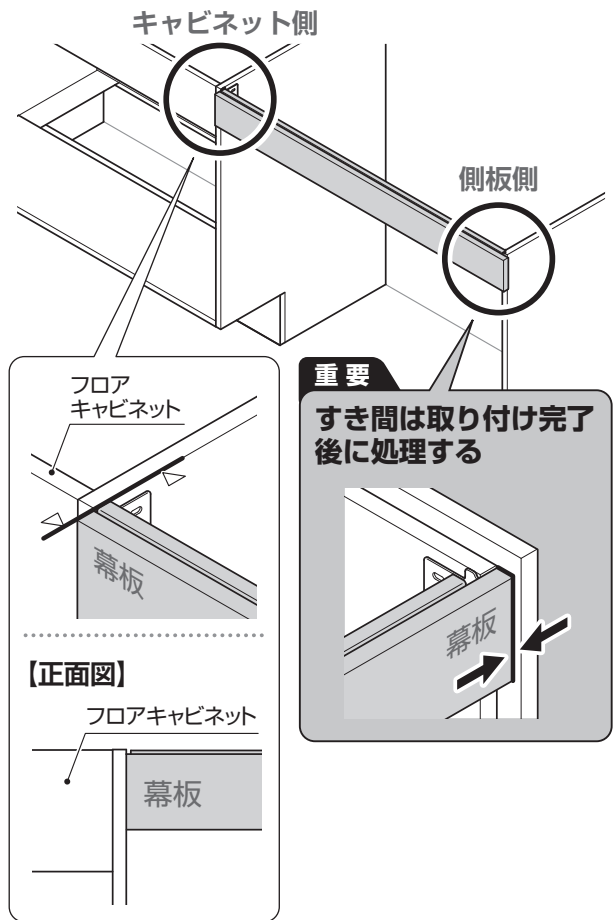


# 15 幕板の設置

## 1 アンクル(大)に幕板をひっかける



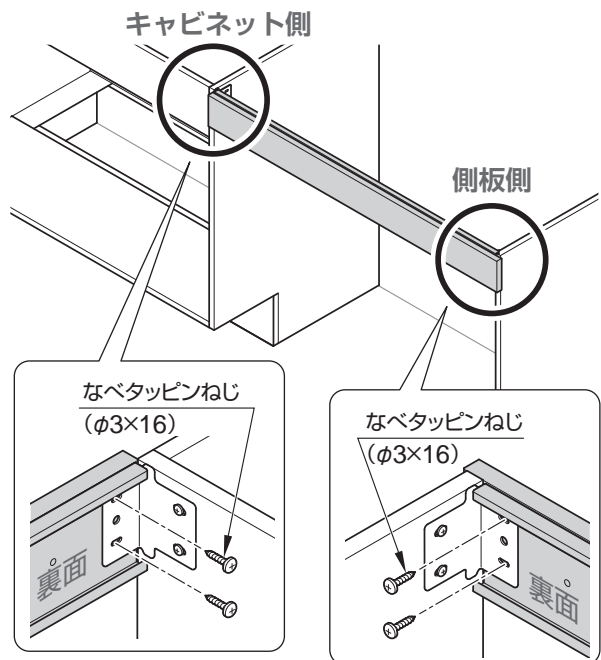
## 2 幕板の端をフロアキャビネットの外面に合わせる



# 1 キャビネットの取り付け

## 3 アンクル(大)と幕板を固定する

※ 幕板に穴がない箇所は下穴 (φ2.5、深さ5) を開けてください。

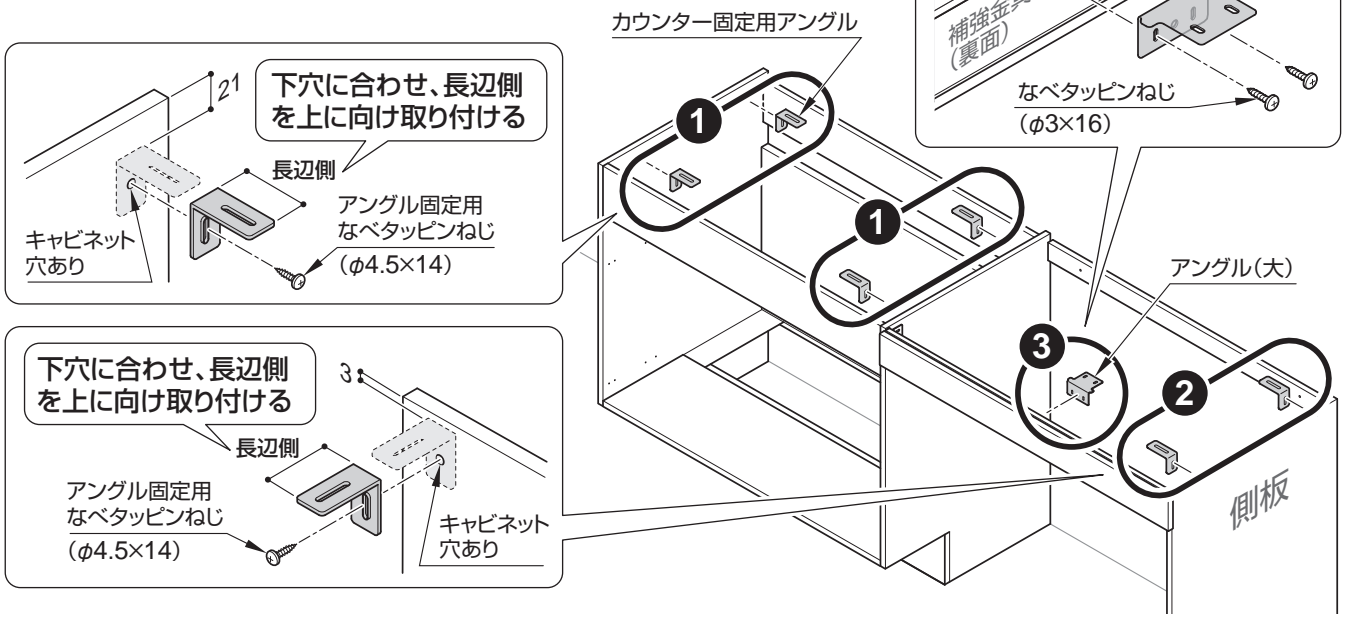


# 2. カウンターの取り付け

## 1 カウンター固定用アングルの取り付け

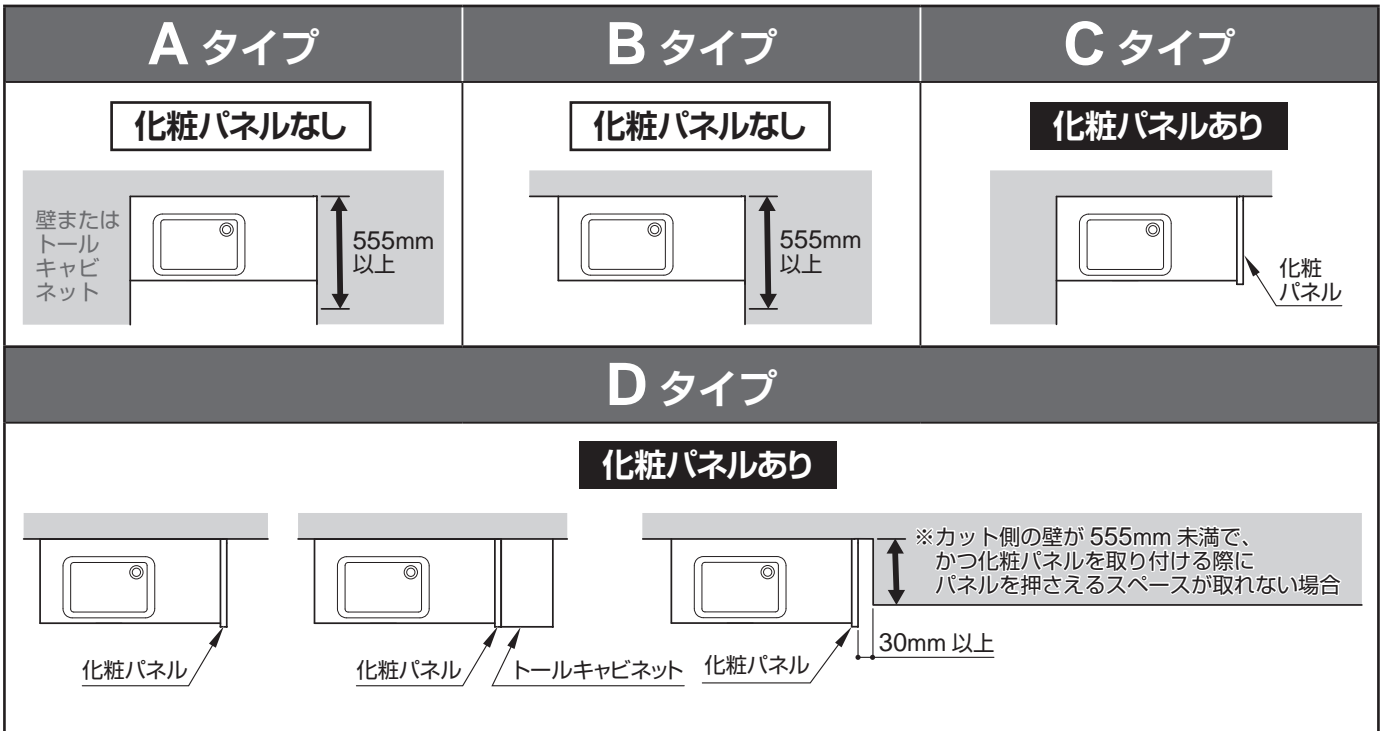
- ① フロアキャビネット側のアングルを取り付ける  
※ 下穴にあわせてカウンター固定用アングル(4カ所)を取り付けてください。
- ② 側板側のアングルを取り付ける  
※ 下穴にあわせてカウンター固定用アングル(2カ所)を取り付けてください。
- ③ 幕板側のアングル(大)を取り付ける  
※ 幕板長さ300mm以下の場合、アングル(大)の取り付け不要です。

**重要**  
下穴は貫通させない



## 2 カウンターのカット寸法測定

- ① 測定前のレイアウトを確認する  
※ 本図は左片寄せ仕様を示します。右片寄せ仕様の場合は逆の配置になります。



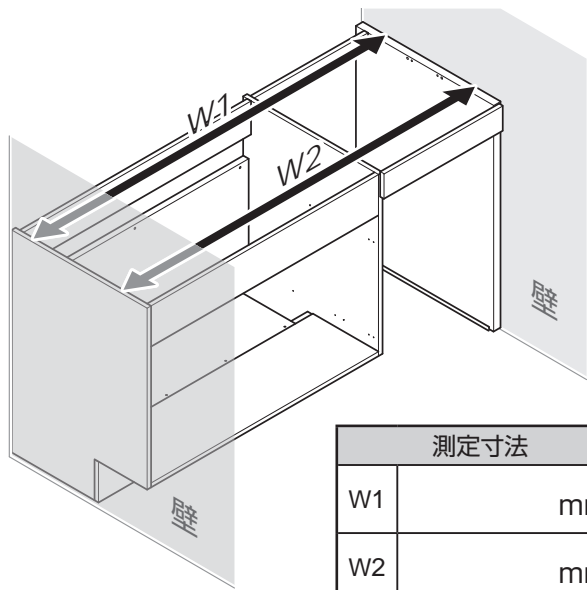


**2 カット寸法を測定する** ※ P.10 レイアウトプランを参照してください。

**Aタイプの場合**

**化粧パネルなし**

- ① 壁またはトールキャビネット-壁 間を測定する



測定寸法	
W1	mm
W2	mm

- ② 表を使ってカット寸法を求める

①で測定した寸法中の最短寸法
mm

—

設置用調整寸法
7 mm

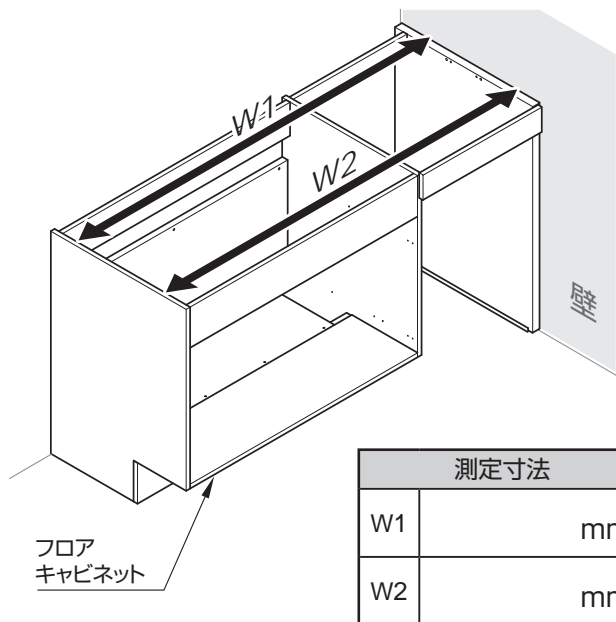
=

カウンターカット寸法
mm

**Bタイプの場合**

**化粧パネルなし**

- ① 製品間口を決定し、キャビネット-壁 間を測定する



測定寸法	
W1	mm
W2	mm

- ② 表を使ってカット寸法を求める

①で測定した寸法中の最短寸法
mm

—

設置用調整寸法
1 mm

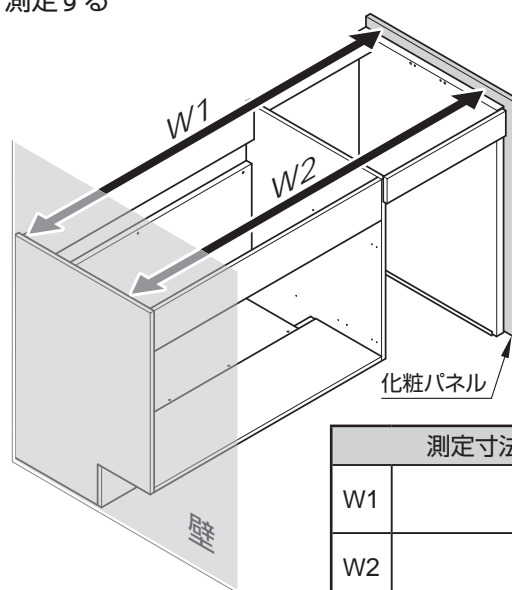
=

カウンターカット寸法
mm

**Cタイプの場合**

**化粧パネルあり**

- ① 壁またはトールキャビネット-化粧パネル内側 間を測定する



測定寸法	
W1	mm
W2	mm

- ② 表を使ってカット寸法を求める

設置用調整寸法
7 mm

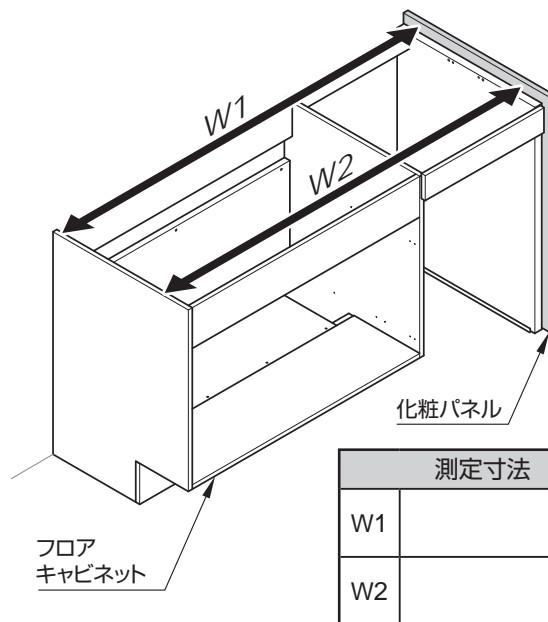
=

カウンターカット寸法
mm

**Dタイプの場合**

**化粧パネルあり**

- ① 製品間口を決定し、キャビネット-化粧パネル内側 間を測定する



測定寸法	
W1	mm
W2	mm

- ② 表を使ってカット寸法を求める

設置用調整寸法
1 mm

=

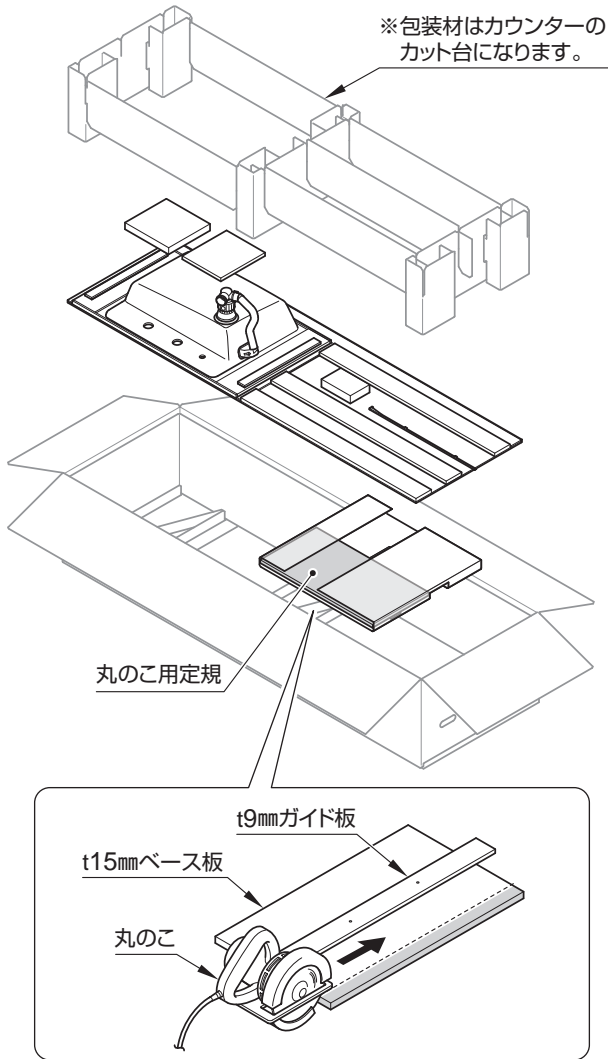
カウンターカット寸法
mm

### 3 カウンターのカット前作業

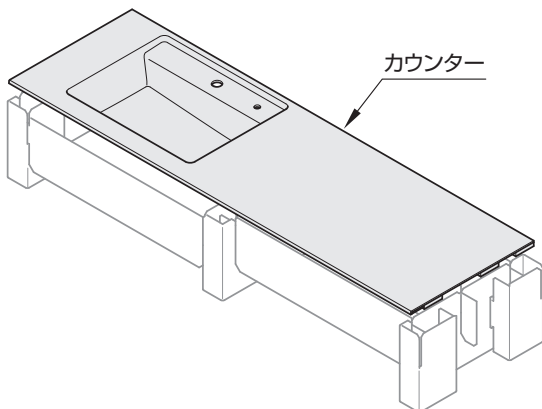
#### 1 丸のご用定規を作成する

**重要**

カウンターをカットする前にお手持ちの丸のごに合った定規をつくる  
※丸のごをガイド板に沿わせてベース板をカットしてください。

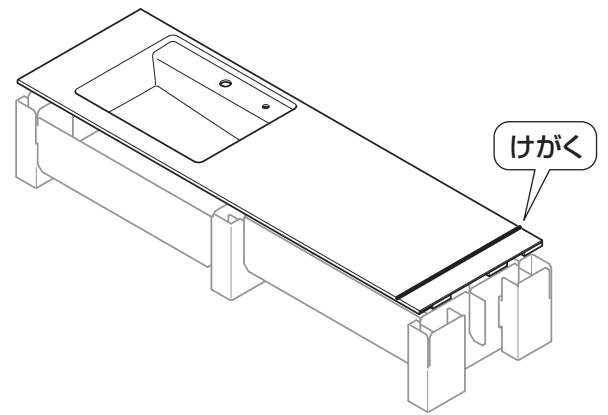


#### 2 カウンターを反転する



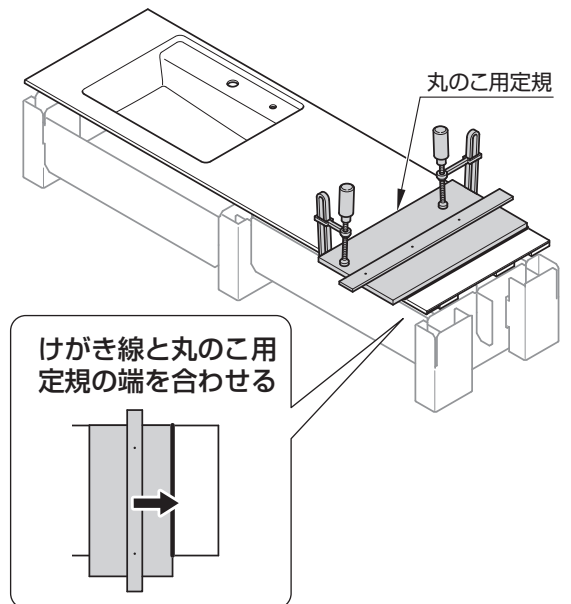
### 4 カウンターのカット

#### 1 カウンターのカット位置をけがく



#### 2 丸のご用定規をセットする

※丸のご用定規はクランプなどで固定をしてください。



## MEMO

### 3 丸のこ用定規に合わせて丸のこでカットする

## ⚠ 注意

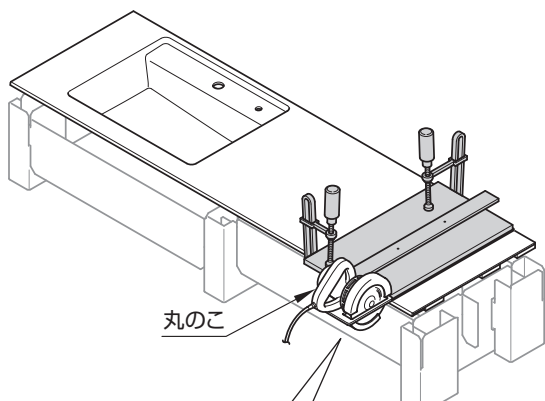


のこ刃の測定時は電源を抜いておく  
作業中にけがをするおそれがあります。

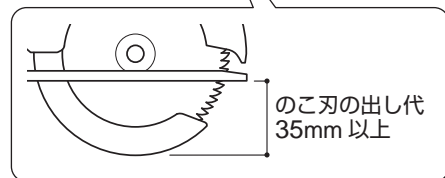
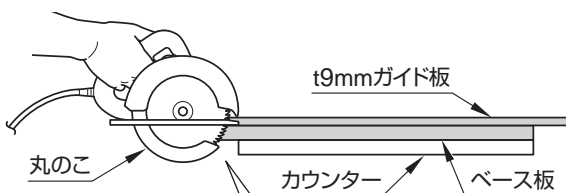
必ず実行

### 重要

t9mm ガイド板に沿って浮かないよう密着させ、  
ゆっくりカットする

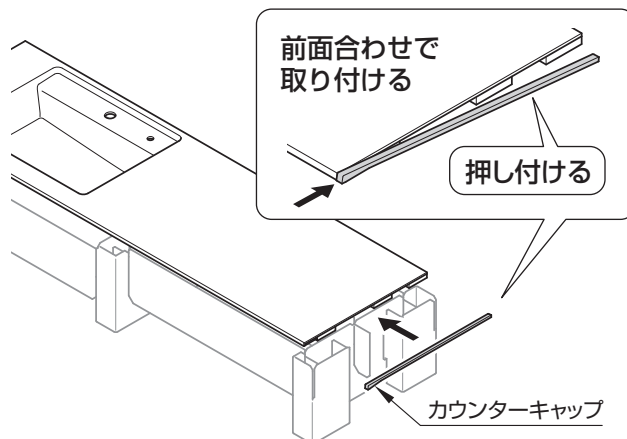


のこ刃がカウンターに触れない位置でスイッチを入れ、  
回転を安定させてからゆっくり前方へ進める



## 5 サイドキャップの取り付け

- カウンターキャップのはく離紙をはがし、  
カウンターに押し付けながら接着



### 重要

- カウンターの貼り付け面は、柔らかい布などで  
きれいにする
- 取り付け位置に注意する
- 十分な接着力を確保するために、強く押し付ける
- カウンターとカウンターキャップの間はすき間が  
ないように取り付ける



## ⚠ 注意



カウンターキャップと壁または化粧パネル  
の突合せ部は必ずシールする

必ず実行 カウンターキャップが外れ、けがをするおそれがあります。

## 2

### カウンターの取り付け

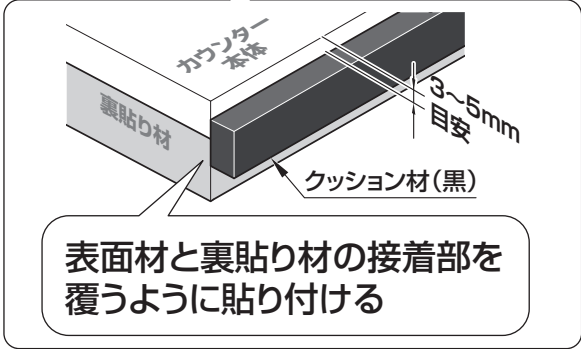
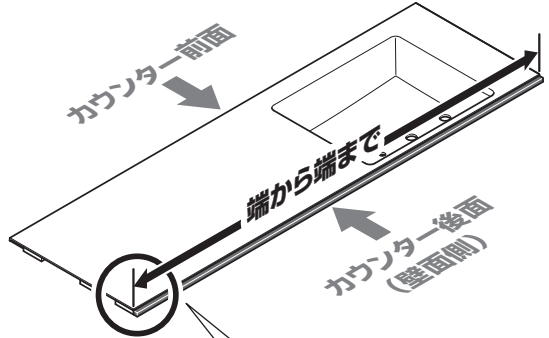
## 6 クッションの貼り付け

### 1 カウンターにクッションを貼り付ける

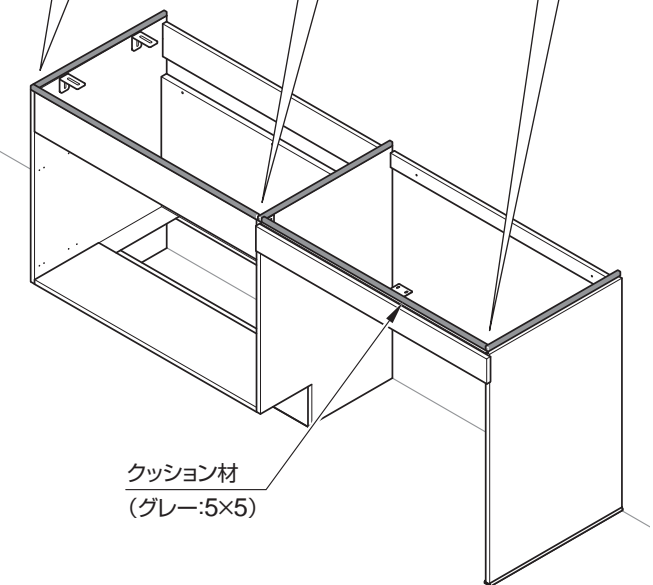
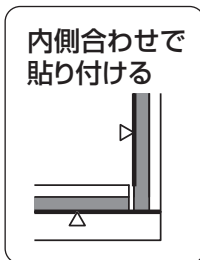
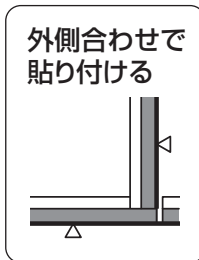
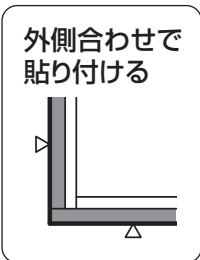
**重要**

**クッション材は必ず取り付ける**

※万が一のシリコン切れの場合に、カウンターから水がしみ込み、躯体が被水することを防ぐためです。



### 2 キャビネットにクッションを貼り付ける



## 7 水栓の取り付け

- 水栓の取り付けについては、水栓金具の施工説明書を参照する

### ⚠ 注意

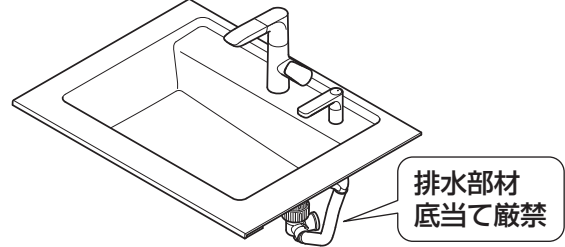


**洗面ボウル裏面の排水部材に荷重や衝撃を与えない**  
排水部材が破損し、水漏れをする原因になります。



**水栓金具の取り付けは、工具で確実に取り付ける**  
取り付け部がゆるむと水漏れをする原因になります。

- 1 カウンターに傷がつかないように養生する
- 2 排水部材に荷重をかけない状態で、水栓を工具で確実に取り付ける

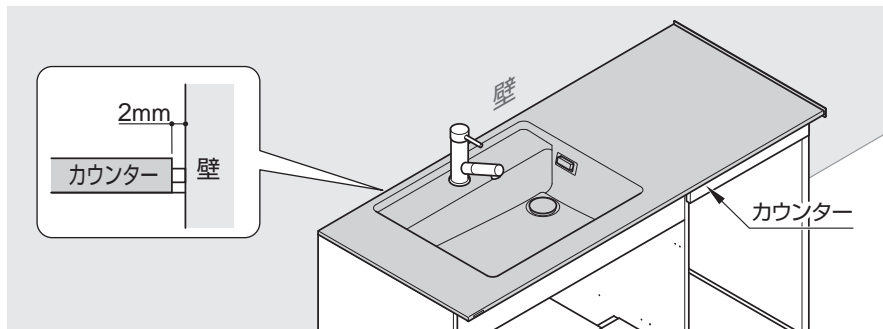


### 「きれい除菌水」生成器をセットする場合

- 「きれい除菌水」生成器を取り付ける
- ※ 取り付けについては、「きれい除菌水」生成器の施工説明書で参照ください。

# 8 カウンターの取り付け

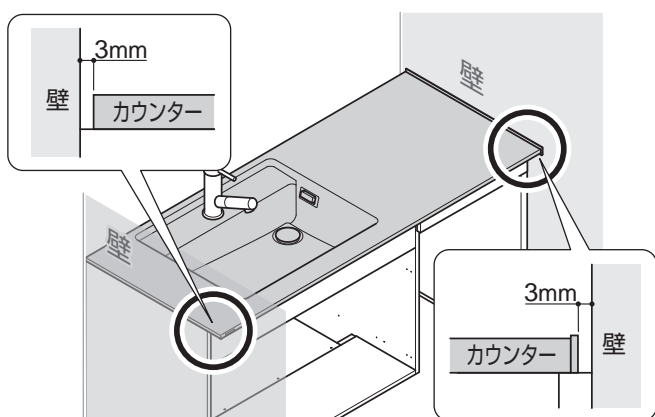
## 1 奥壁から2mmあけて配置



## 2 カウンターの位置決め

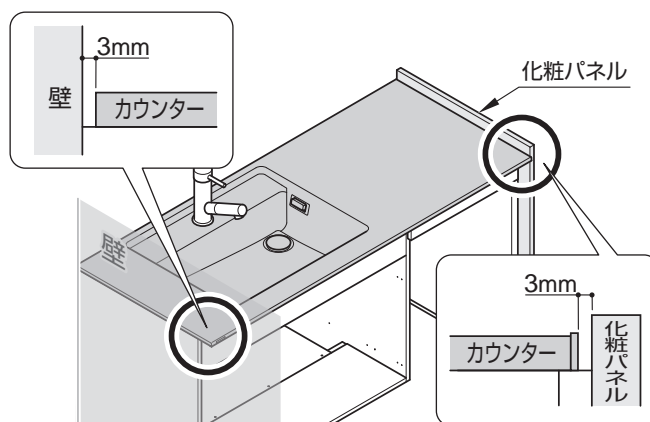
### Aタイプの場合

### 化粧パネルなし



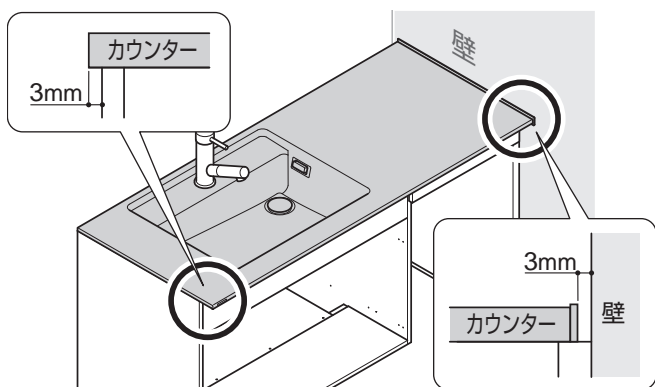
### Cタイプの場合

### 化粧パネルあり



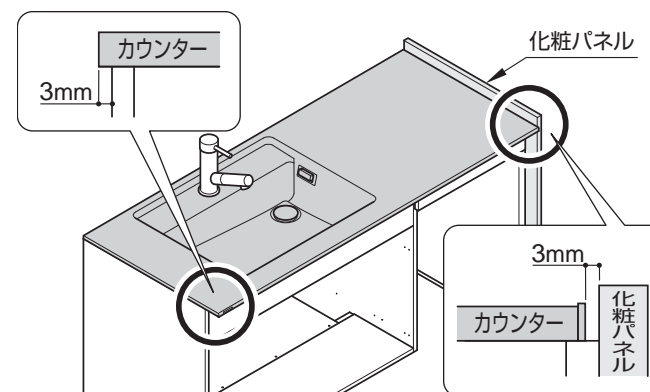
### Bタイプの場合

### 化粧パネルなし



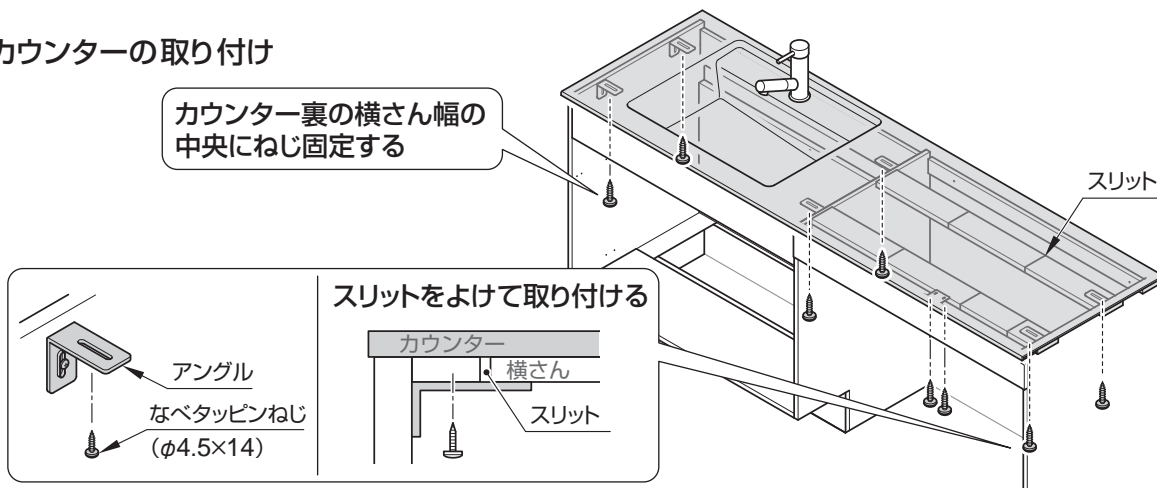
### Dタイプの場合

### 化粧パネルあり



## 3 カウンターの取り付け

カウンター裏の横さん幅の中央にねじ固定する

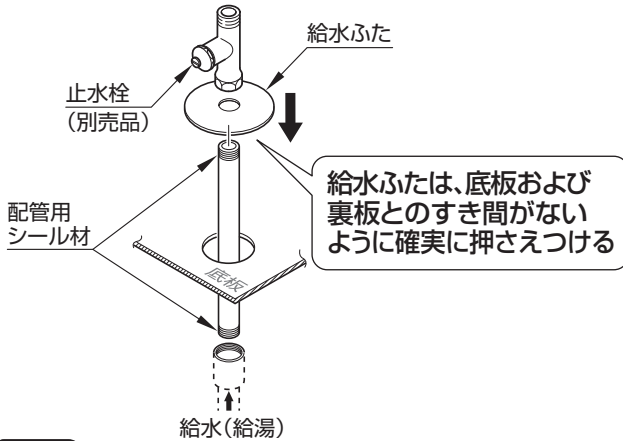


# 3. 配管の接続

## 1 止水栓の取り付け

- 止水栓は工具で確実に締め付ける
- 樹脂配管対応はTSAS4BJZAに付属の施工説明書を参照する

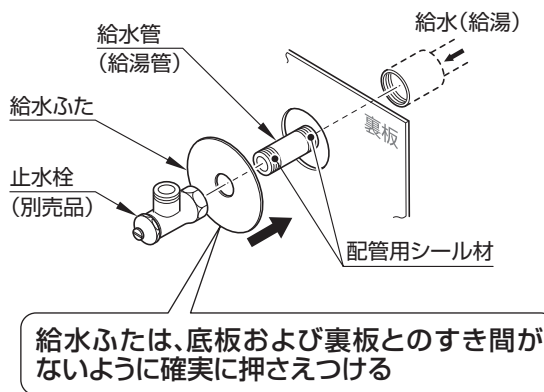
### 床給水の場合



#### 重要

止水栓は洗面ボウル高さを確認して指定の止水栓を使用する

### 壁給水の場合



## 2 給水・給湯の接続

- 給水・給湯の接続は、水栓金具に付属の施工説明書に従い接続する

### 「きれい除菌水」生成器をセットする場合

- 給水・給湯の接続は、「きれい除菌水」生成器に付属の施工説明書に従い接続する

## MEMO

### 3 排水トラップの取り付け

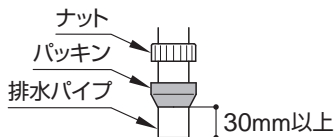
## ⚠ 注意

#### ●パッキンの方向に注意する

※パッキンは下図の位置に取り付けてください。

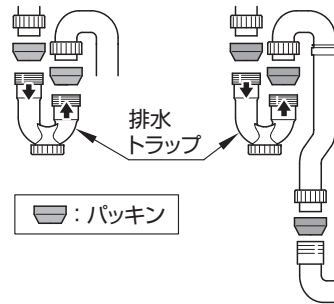


必ず実行

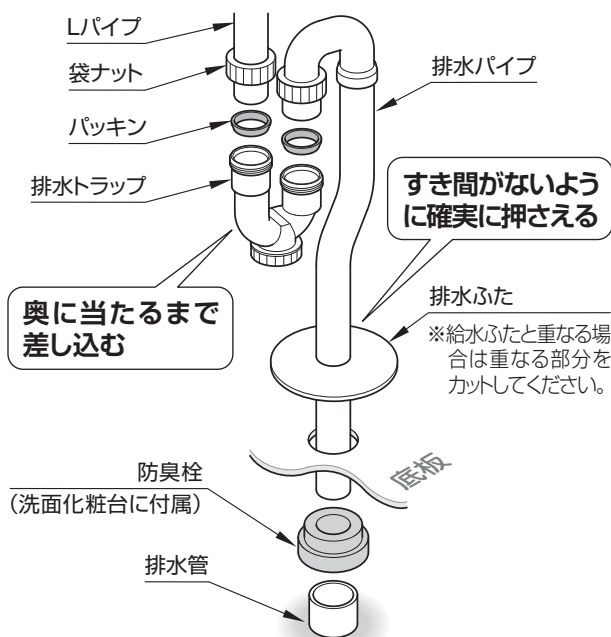


#### ●ナットは手で確実に締め付け、工具は使用しない 水漏れの原因になります。

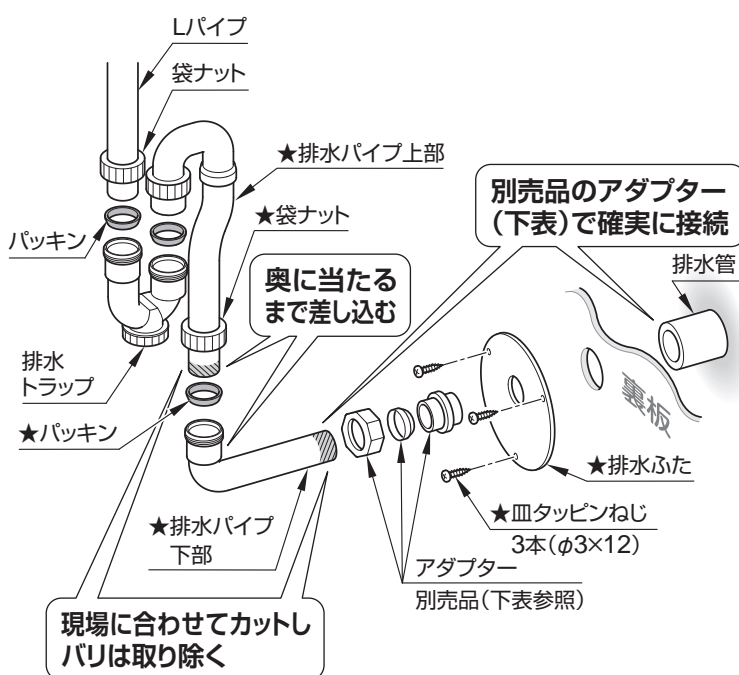
#### ●排水トラップの矢印 マークと排水の流れる 方向を合わせる



### 床排水の場合



### 壁排水の場合



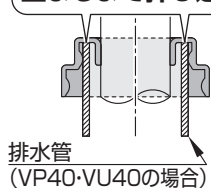
※★印は、別売品の壁排水管LO159の部品を示します。

### 重要

#### 防臭栓は確実にはめ込む

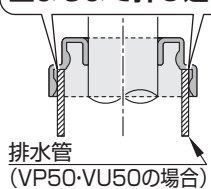
下水ガスが流入し錆・異臭の原因になります。

止まるまで押し込む



排水管 (VP40・VU40の場合)

止まるまで押し込む

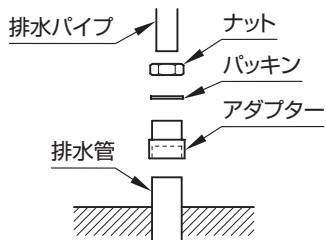


排水管 (VP50・VU50の場合)

### アダプター接続の場合

●集合住宅・高層住宅の場合、排水管と排水パイプを別売のアダプター(下表)で確実に接合する

アダプターの種類	サイズ
T1122R(鋼管用)	R1¼
T1122J(塩ビ管用)	30用
LO48(塩ビ管用)	40用
LO49(塩ビ管用)	50用



## ⚠ 注意



必ず実行

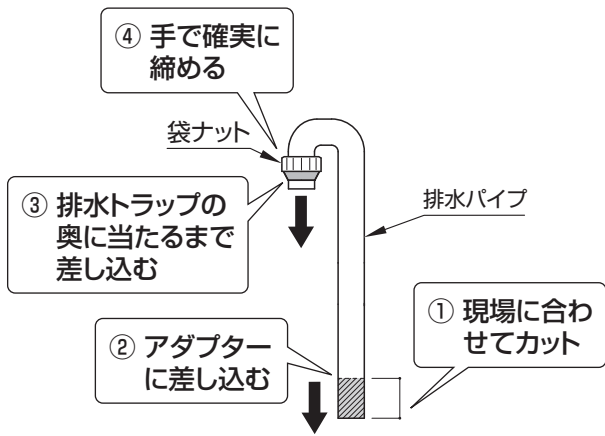
#### 接着剤は必ず、アダプターと排水管の 両方に塗布する

片側のみ塗布した場合、水漏れの原因になります。

※上記品番はアダプター・パッキン・ナットのセット品番です。T1122Jは排水パイプのカットが必要です。

### 〈T1122J使用時の取り付け〉

## 3 配線の接続



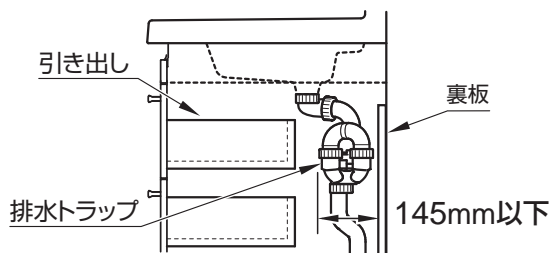
### ⚠ 注意



**工具は使用しない**  
水漏れの原因になります。

禁止

- 排水トラップを設置した後は、下図の範囲に納まっているか確認する



### ⚠ 注意



**排水トラップを上図の範囲に設置し、引き出しが当たらないか確認する**

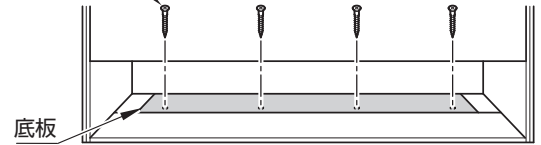
必ず実行

水漏れの原因になります。

## 4 底板の固定

- 底板をトラスタッピンねじ(φ3.5×12)で固定する

トラスタッピンねじ  
4本(φ3.5×12)

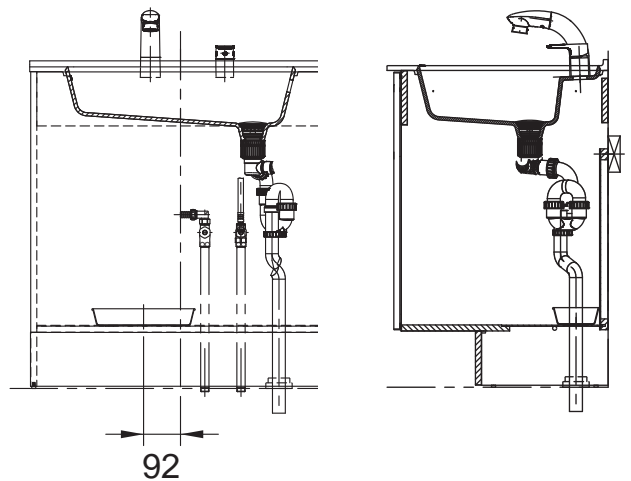


## 5 水受けトレイの取り付け

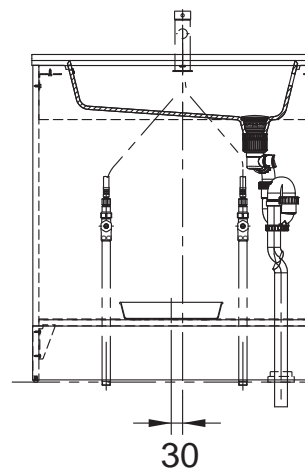
### ホース引き出し式水栓の場合

※取り付けについては、水栓金具の施工説明書をご参照ください。

### 下記以外の場合



### コンテンポラリタイプの場合





# 4. 仕上げ

## 1 扉の調整

重要

扉・引き出しの傾き・がたつきなど丁番・レールのゆるみがないことを確認し、必ず調整する

### ⚠ 注意



禁止

#### 電動ドライバー禁止

部材が破損し扉の脱落につながり、けがをするおそれがあります。



必ず実行

#### 調整後、取付けねじをしっかりと締め付けて、ゆるみがないことを確認する

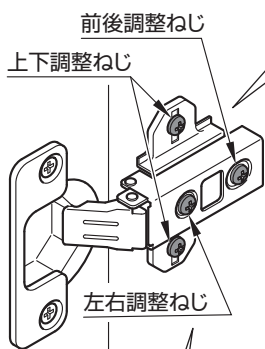
扉が外れて、けがをするおそれがあります。

### 〈上下の調整〉

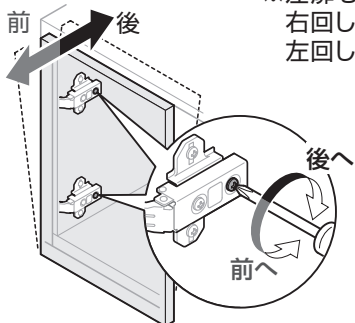
② 扉を動かす

③ しっかり締める

① ゆるめる

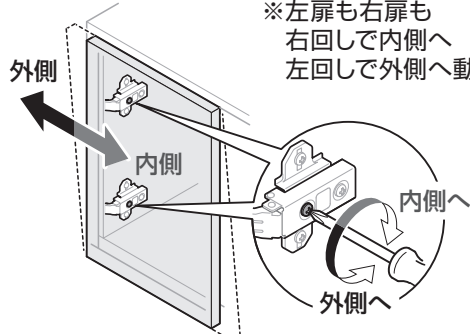


### 〈前後の調整〉



※左扉も右扉も  
右回しで後へ  
左回しで前へ動きます。

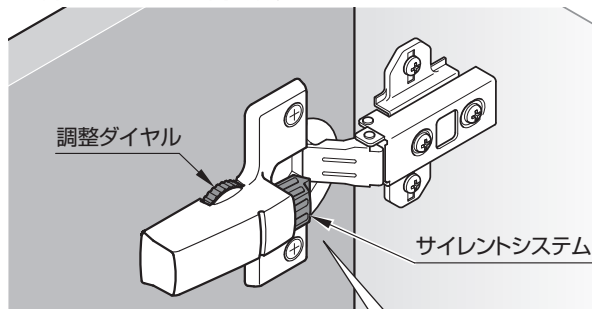
### 〈左右の調整〉



※左扉も右扉も  
右回しで内側へ  
左回しで外側へ動きます。

### 〈扉を閉じるときのスピード調整のしかた〉

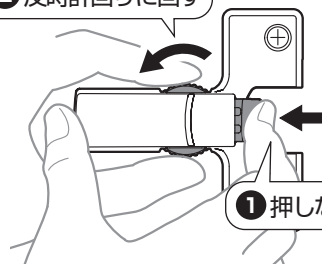
※本図は左扉の調整方法を示します。  
右扉でも回す方向は変わりません。



### 〈速く閉める〉 ※サイレントシステムが縮みます。

② 反時計回りに回す

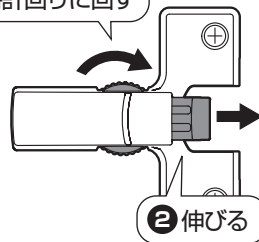
① 押しながら



### 〈遅く閉める〉 ※サイレントシステムが伸びます。

① 時計回りに回す

② 伸びる

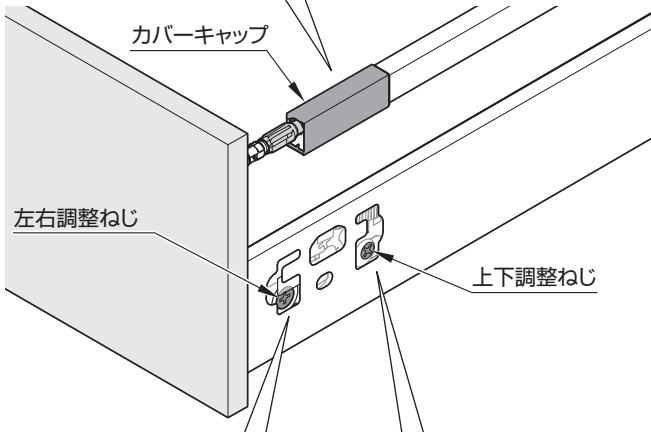


## 2 2段引き出しの調整

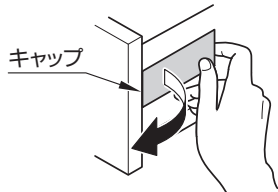
### 〈前後のずれ〉

カバーキャップをスライドさせ、  
中の部材で調整

※中の部材を回すと、  
前板が前後に動きます。



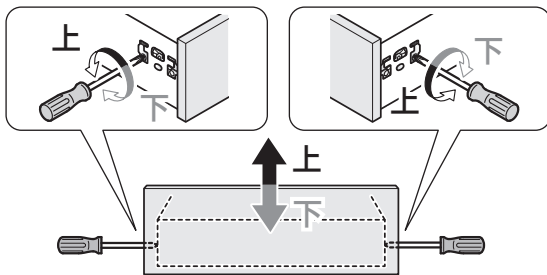
### ① キャップを取り外す



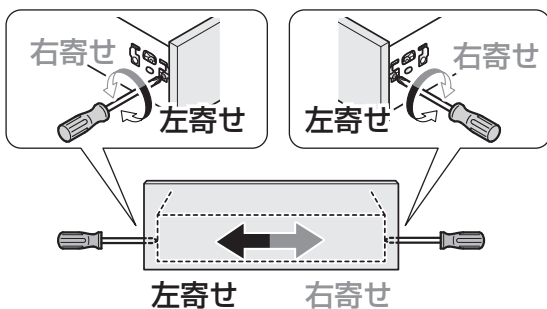
### ② 上下・左右調整ねじで調整

※片側だけの調整では動きません。  
必ず両側のねじで調整を行ってください。

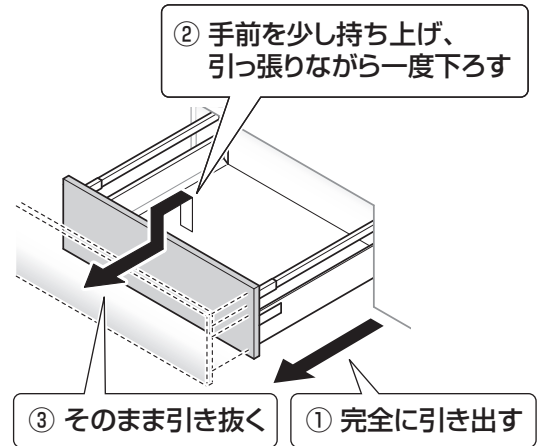
### 〈上下のずれ〉



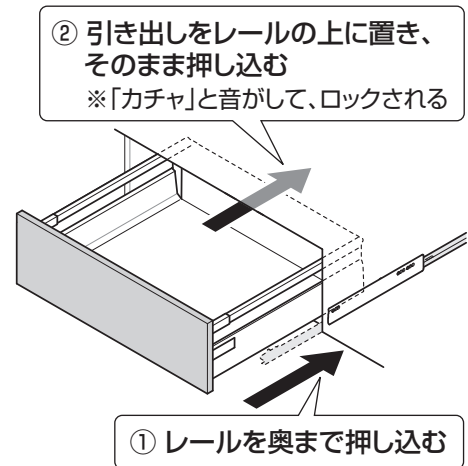
### 〈左右のずれ〉



### 〈取り外しかた〉



### 〈取り付けかた〉

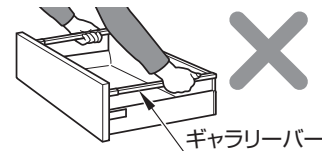


## ⚠ 注意

ギャラリバーを持たない  
ギャラリバーが外れて引き出しが落下し、  
けがをするおそれがあります。



禁止



ギャラリバー



必ず実行

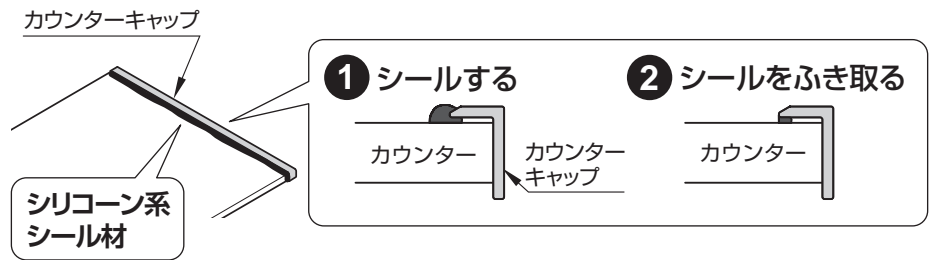
取り付け後必ず2~3回開閉して確実に  
取り付けられているか確認する  
確実に取り付けられていないと使用中に引き出  
しが外れてけがをするおそれがあります。

### 3 カウンターキャップの処理方法

カウンターとカウンターキャップ  
すき間にシリコン系シール材  
(現場調達)でシールする

**重要**

はみ出したシリコン系  
シール材は全部ふき取る



### 4 壁や化粧パネルとの処理方法

● カウンターと壁または化粧パネルおよびトールキャビネットの突合せ部をシリコン系シール材  
(現場調達)でシールする

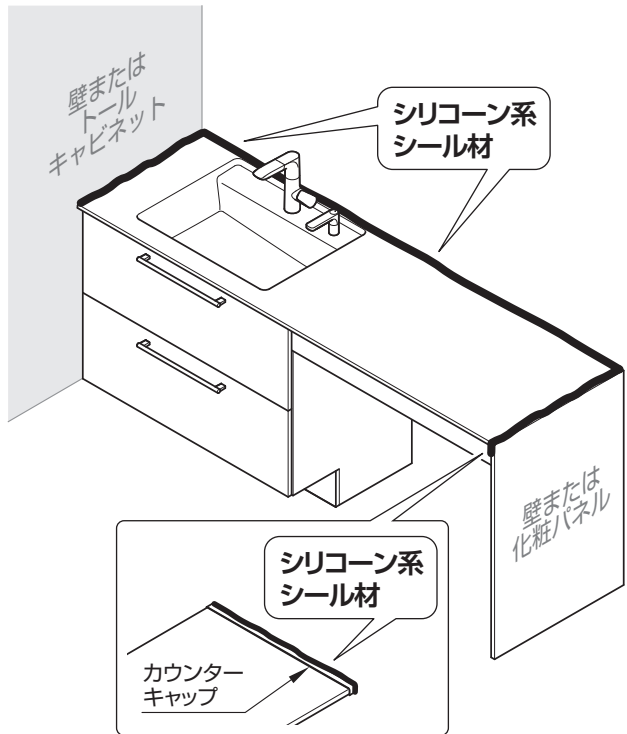
- ※ バックパネル(鏡タイプ)など、シールパッキンの付いた部材をカウンターの上にのせる場合、正面部はシリコン系シール材の処理は不要です。
- ※ バックパネル(柄タイプ)を取り付ける場合は、バックパネル(柄タイプ)に付属の組立・設置説明書をご確認ください。

#### ⚠ 注意



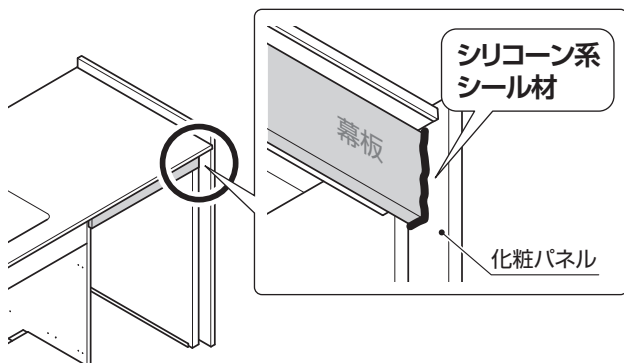
#### 必ずシールをする

必ず実行 シールをしないと突き合せ部から水が浸入し、キャビネットや壁・床を傷める場合があります。



### 5 幕板部の処理方法

※推奨カラーは右の表を参考にしてください。



幕板色	シリコン系シール材 推奨色
オプティホワイト	ホワイト
オーブライトグリーン	クリア
ベアホワイトウッド	アイボリー
ベアブラウンウッド	ブラック
パナシェホワイト	ホワイト
ライトウッドN	アイボリー
ミディアムウッドN	ベージュ
ロイダルブラウン	ブラック

## 6 取り付け完了後の確認と清掃

- キャビネットが壁に確実に固定されていることを確認する
- 通水し、配管内部の詰まり、配管接続部の水漏れ、ボウル内に汚れのないことを確認する
- 商品に付いた汚れ(プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む)は、ぬれた布をかたく絞ってふき取る  
その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤を付けてふき上げ、最後にからぶきする

### 重要

**有機溶剤(シンナー・アセトン)などの使用は表面を変色・変質させますので、絶対に使用しない**

- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどで遮る
- 扉・前板・側板・化粧パネルに傷つき防止用保護シートが貼られている場合は、シートをはがす
- 2段引き出しタイプの場合、給水・給湯ホースと引き出しが干渉しないことを確認する  
※引き出しが閉まらない、給水・給湯ホースが傷つく原因になります。  
干渉する場合は、ホースのたるみがないように調整する

## MEMO

## 7 凍結予防の仕方

※水栓金具・「きれい除菌水」生成器の水抜きについては、付属の施工説明書をご参照ください。

### ⚠ 注意



必ず実行

- 凍結のおそれのある時期に取り付けされた場合は、別途設備された水抜き栓の操作と合わせて、次の要領で水抜きをするお客様にも水抜き方法をご指導ください。
- 水抜きコックは手で確実に締め付け、工具は使用しない  
水漏れの原因になります。

### 寒冷地タイプの場合

#### 〈排水トラップの水抜き〉

- 1 水を受ける容器を置く
- 2 排水トラップの水抜きコックを開ける
- 3 水抜き後は、必ず水抜きコックを手締めで確実に閉める

※ ハンドシャワーを元の位置にもどしたあと、水抜きトレイを元の位置にもどしてください。

